滋賀県
景況調査結果報告書

令和8年度 第2四半期
（令和8年7～9月期）

目次

１．調査概要……2
２．全体の結果……5
３．規模別の結果……9
４．業種別の結果……13
５．追加設問の結果……24

滋賀県商工労働部商工政策課

景 況 調 査 結 果 報 告 書（令和8年度 第2四半期）

滋賀県では、県内の景気動向の把握を目的として、四半期毎に景況調査を実施しております。今期（令和8年7～9月期）の調査結果の概要は次のとおりです。過去の景況調査結果報告書については、滋賀県公式ホームページをご覧ください。

滋賀県公式ホームページ
https://www.pref.shiga.lg.jp/ippan/shigotosangyou/syougyou/300168.html

目的：滋賀県内の景気動向を把握するため

送付方法：郵便、e-mail

回答受付方法：しがネット受付サービス、FAX、e-mail、郵便

	しがネット	FAX	郵送	Eメール	合計
回答数	431	12	1	2	446
（割合）	96.6%	2.7%	0.2%	0.4%	100.0%

調査対象企業数：滋賀県内の事業所（750社）

回答受付期間：令和8年8月18日～9月3日

回答企業数：446社（回答率59.5%）

※大企業31社、中小企業415社（うち小規模事業者153社）

（参考）規模・業種別回答事業所内訳

	1.製造業	2.建設業	3.卸売業	4.小売業	5.サービス業	合計
大企業	15	1	1	5	9	31
中小企業者・小規模事業者	136	88	27	51	113	415
合計	151	89	28	56	122	446
（業種別比率）	33.9%	20.0%	6.3%	12.6%	27.4%	100.0%

（参考）地域・業種別回答事業所内訳

	1.製造業	2.建設業	3.卸売業	4.小売業	5.サービス業	合計
1.大津地域	19	14	8	12	24	77
2.南部地域	32	16	3	13	26	90
3.甲賀地域	21	9	0	6	11	47
4.東近江地域	24	17	4	7	15	67
5.湖東地域	16	12	6	13	18	65
6.湖北地域	20	7	5	4	14	50
7.高島地域	19	14	2	1	14	50
合計	151	89	28	56	122	446

【結果の概要（業況DI）】

- **【全体】** 今期は▲8.3と、前期と比べて10.1ポイント改善した。
  来期は▲11.5と、マイナス幅が拡大する見通しである。

- **【規模別】** 大企業では＋12.9とプラスに転じ、中小企業（小規模事業者を含む）では▲9.9となり、マイナス幅が縮小した。
  来期は大企業が±0.0となり、中小企業は▲12.3とマイナス幅が拡大する見通しである。

- **【業種別】** 前期と比べて全業種で改善した。来期は、製造業はプラス幅が縮小、建設業はマイナス幅が縮小、卸売業はマイナスに転じ、これら以外の業種において、マイナス幅が拡大する見通しである。

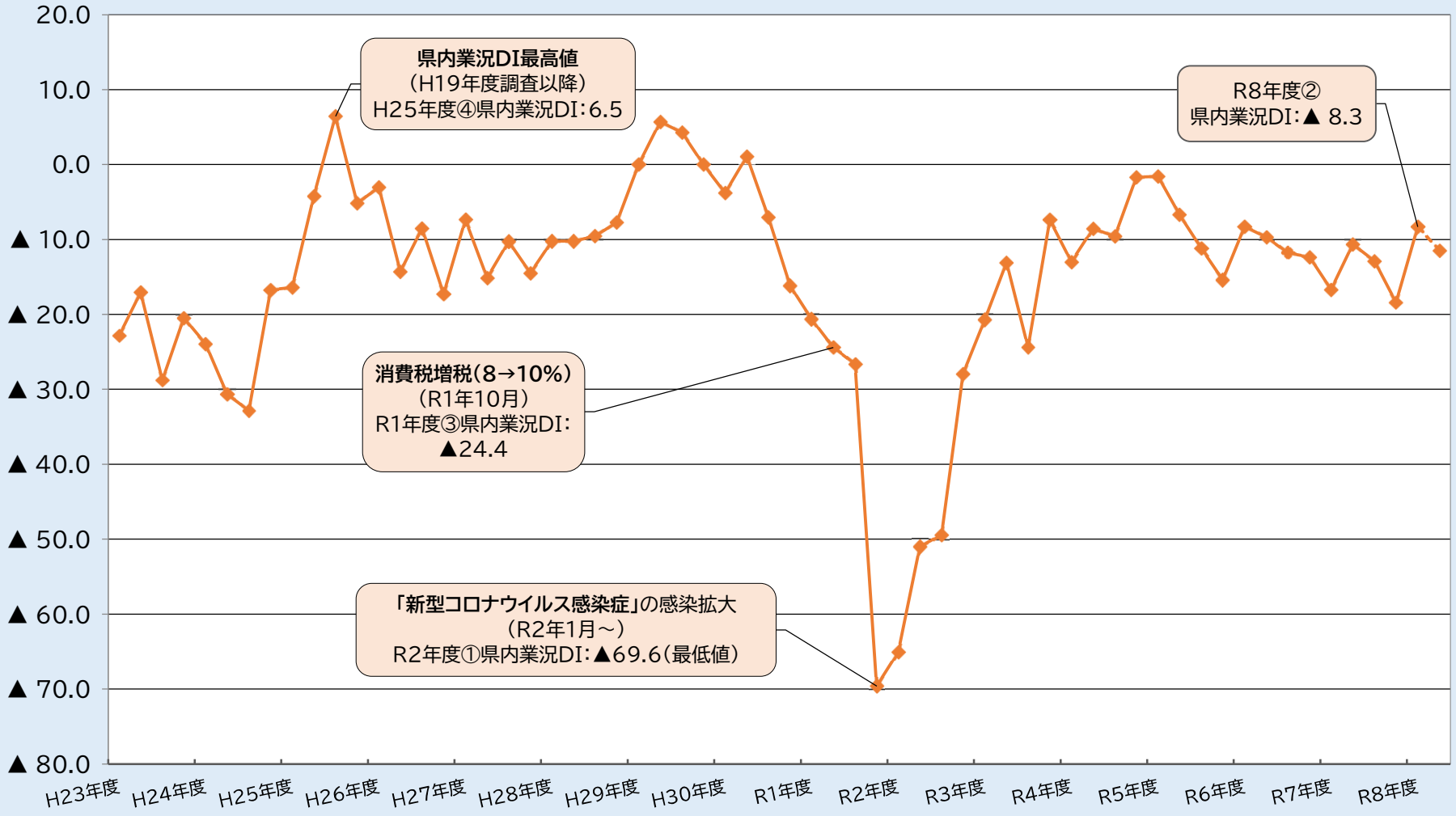
※本調査でのDI（ディフュージョン・インデックス）：「増加（好転・上昇・過剰等）」と回答した事業所数の構成比から「減少（悪化・低下・不足等）」と回答した事業所数の構成比を差し引いた値である。

※今期：令和8年7～9月期、来期：令和8年10～12月期

※業況、生産、売上、経常利益、雇用の水準は前年同時期と比較した回答、在庫数量、資金繰り、引合いは今期と来期の状況についての回答である。

業況DIの推移

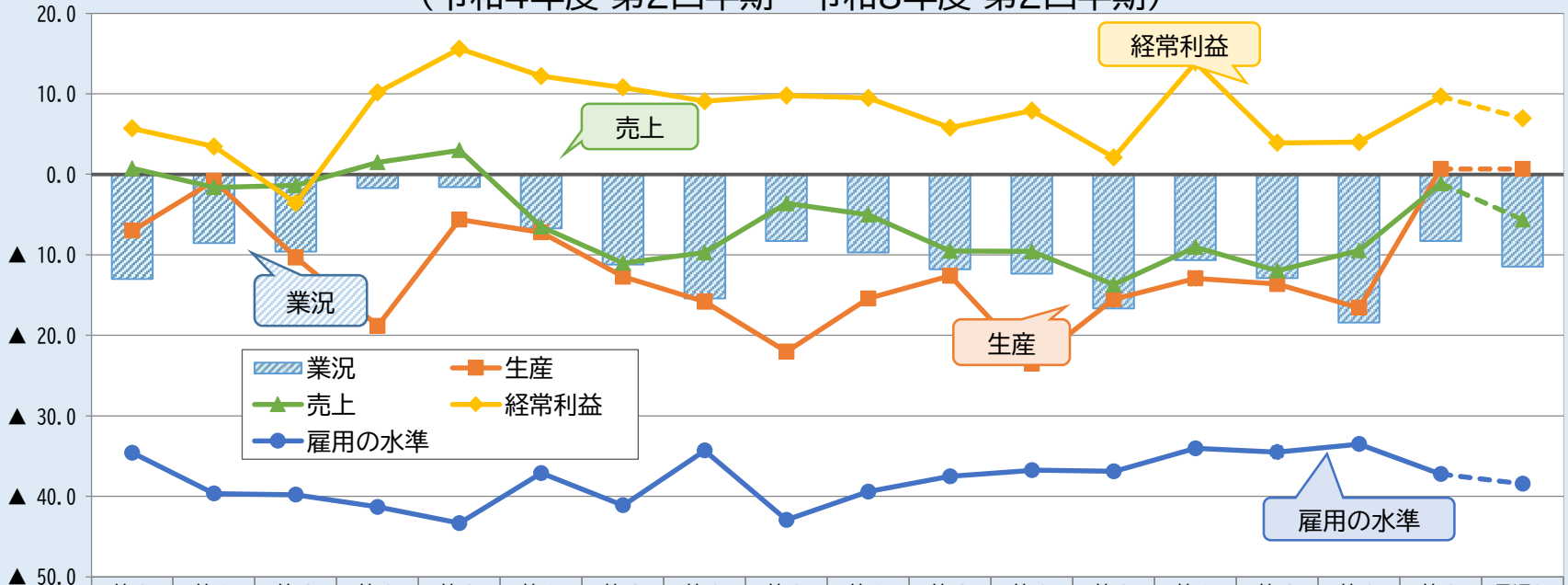
（平成23年度 第2四半期～令和8年度 第2四半期）



景況調査結果報告書（令和8年度 第2四半期）

各種DIの推移

（令和4年度 第2四半期～令和8年度 第2四半期）



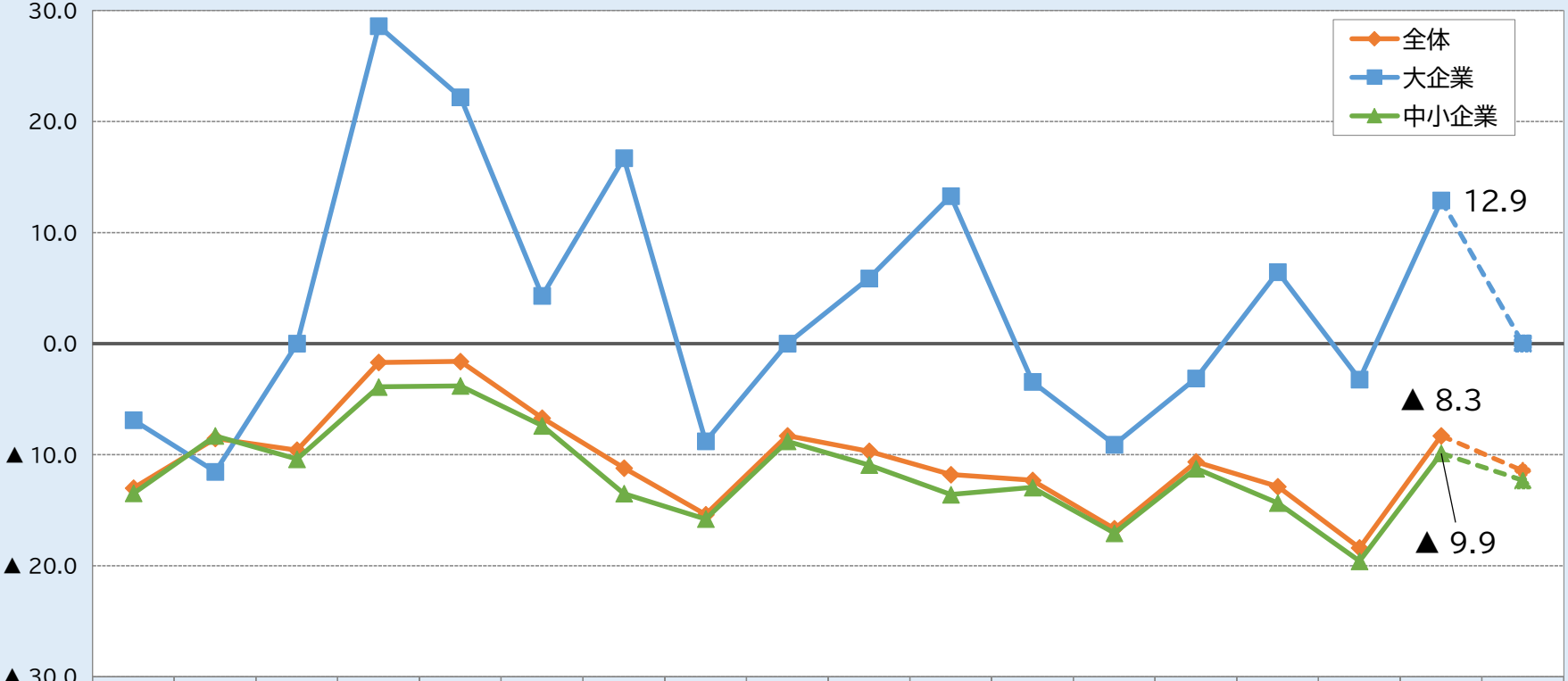
	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	見通し
	R4（2022）年度			R5(2023)年度				R6(2024)年度				R7(2025)年度				R8(2026)年度		
業況	▲ 13.0	▲ 8.5	▲ 9.6	▲ 1.7	▲ 1.6	▲ 6.7	▲ 11.2	▲ 15.4	▲ 8.3	▲ 9.7	▲ 11.8	▲ 12.3	▲ 16.7	▲ 10.6	▲ 12.9	▲ 18.4	▲ 8.3	▲ 11.5
生産	▲ 7.0	▲ 0.8	▲ 10.3	▲ 18.8	▲ 5.6	▲ 7.2	▲ 12.7	▲ 15.8	▲ 22.0	▲ 15.4	▲ 12.6	▲ 23.5	▲ 15.5	▲ 12.9	▲ 13.6	▲ 16.6	0.7	0.7
売上	0.8	▲ 1.6	▲ 1.4	1.5	3.0	▲ 6.5	▲ 11.0	▲ 9.7	▲ 3.6	▲ 5.0	▲ 9.5	▲ 9.6	▲ 13.7	▲ 9.0	▲ 12.0	▲ 9.4	▲ 1.1	▲ 5.6
経常利益	5.7	3.5	▲ 3.6	10.2	15.6	12.2	10.8	9.1	9.8	9.5	5.8	7.9	2.1	13.9	3.9	4.0	9.7	7.0
雇用の水準	▲ 34.6	▲ 39.6	▲ 39.8	▲ 41.3	▲ 43.3	▲ 37.1	▲ 41.1	▲ 34.3	▲ 42.9	▲ 39.4	▲ 37.5	▲ 36.7	▲ 36.9	▲ 34.0	▲ 34.5	▲ 33.5	▲ 37.2	▲ 38.4

【今期（令和8年7～9月期）の景況】※前年同時期との比較
業況DIはマイナス幅が大幅に縮小、売上DIはマイナス幅が縮小、生産DIはプラスに転じ、経常利益DIはプラス幅が拡大した。
雇用の水準DIはマイナス幅が拡大し、不足感が強まった。

【来期（令和8年10～12月期）の見通し】
業況DI、売上DIはマイナス幅が拡大、生産DIは今期並み、経常利益DIはプラス幅が縮小する見通し。
雇用の水準DIはマイナス幅が拡大し、不足感が強まる見通し。

【企業規模別】業況DIの推移

（令和4年度 第2四半期～令和8年度 第2四半期）



	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	見通し
	R4(2022)年度			R5（2023）年度				R6（2024）年度				R7（2025）年度				R8(2026)年度		
全体	▲ 13.0	▲ 8.5	▲ 9.6	▲ 1.7	▲ 1.6	▲ 6.7	▲ 11.2	▲ 15.4	▲ 8.3	▲ 9.7	▲ 11.8	▲ 12.3	▲ 16.7	▲ 10.6	▲ 12.9	▲ 18.4	▲ 8.3	▲ 11.5
大企業	▲ 6.9	▲ 11.5	0.0	28.6	22.2	4.3	16.7	▲ 8.8	0.0	5.9	13.3	▲ 3.4	▲ 9.1	▲ 3.1	6.5	▲ 3.2	12.9	0.0
中小企業	▲ 13.5	▲ 8.3	▲ 10.4	▲ 3.9	▲ 3.8	▲ 7.4	▲ 13.5	▲ 15.8	▲ 8.8	▲ 10.9	▲ 13.6	▲ 13.0	▲ 17.1	▲ 11.3	▲ 14.4	▲ 19.6	▲ 9.9	▲ 12.3

【大企業】	今期：+12.9とプラスに転じた。	来期：±0.0となる見通し。
【中小企業】	今期：▲9.9とマイナス幅が縮小した。	来期：▲12.3とマイナス幅が拡大する見通し。

景況調査結果報告書（令和8年度 第2四半期）

【企業業種別】業況DIの推移（令和4年度 第2四半期～令和8年度 第2四半期）



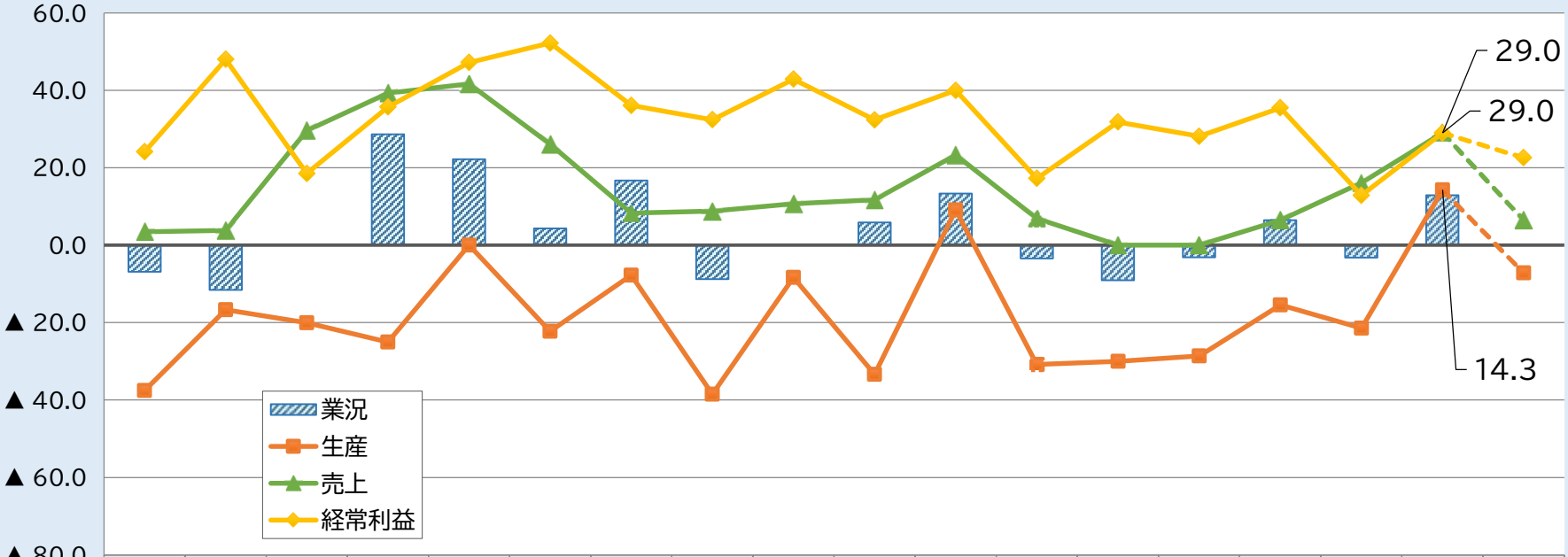
	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	見通し
	R4(2022)年度			R5(2023)年度				R6(2024)年度				R7(2025)年度				R8(2026)年度		
全体	▲ 13.0	▲ 8.5	▲ 9.6	▲ 1.7	▲ 1.6	▲ 6.7	▲ 11.2	▲ 15.4	▲ 8.3	▲ 9.7	▲ 11.8	▲ 12.3	▲ 16.7	▲ 10.6	▲ 12.9	▲ 18.4	▲ 8.3	▲ 11.5
製造業	▲ 15.1	▲ 9.1	▲ 25.2	▲ 10.7	▲ 8.8	▲ 5.5	▲ 17.2	▲ 21.6	▲ 20.6	▲ 11.4	▲ 11.6	▲ 17.9	▲ 15.3	▲ 9.3	▲ 10.0	▲ 18.2	1.3	0.0
建設業	▲ 24.6	▲ 18.8	▲ 15.6	▲ 11.0	▲ 6.3	▲ 15.9	▲ 8.2	▲ 12.2	▲ 5.4	▲ 11.5	▲ 9.2	▲ 8.0	▲ 12.8	▲ 15.3	▲ 18.4	▲ 29.3	▲ 22.5	▲ 21.3
卸売業	▲ 14.3	▲ 26.7	▲ 14.3	4.2	▲ 13.8	▲ 3.6	▲ 20.0	▲ 9.1	▲ 6.5	▲ 6.5	▲ 19.4	▲ 20.7	▲ 18.2	0.0	0.0	▲ 15.4	0.0	▲ 7.1
小売業	▲ 25.0	▲ 25.6	▲ 2.2	▲ 5.6	0.0	▲ 21.2	▲ 2.9	▲ 15.6	▲ 6.3	▲ 24.1	▲ 10.3	▲ 22.0	▲ 29.6	▲ 14.8	▲ 29.0	▲ 26.8	▲ 25.0	▲ 27.3
サービス業	1.9	11.9	12.0	17.0	12.0	3.7	▲ 8.3	▲ 10.9	3.0	0.0	▲ 12.7	▲ 1.8	▲ 14.8	▲ 9.6	▲ 6.5	▲ 8.4	▲ 4.1	▲ 12.3

【製造業】	今期：+1.3とプラスに転じた。	来期：±0.0となる見通し。
【建設業】	今期：▲22.5とマイナス幅が縮小した。	来期：▲21.3とマイナス幅が縮小する見通し。
【卸売業】	今期：±0.0となった。	来期：▲7.1とマイナスに転じる見通し。
【小売業】	今期：▲25.0とマイナス幅が縮小した。	来期：▲27.3とマイナス幅が拡大する見通し。
【サービス業】	今期：▲4.1とマイナス幅が縮小した。	来期：▲12.3とマイナス幅が拡大する見通し。

景況調査結果報告書（令和8年度 第2四半期）

【大企業】①「業況・生産・売上・経常利益」の動向

（令和4年度 第2四半期～令和8年度 第2四半期）

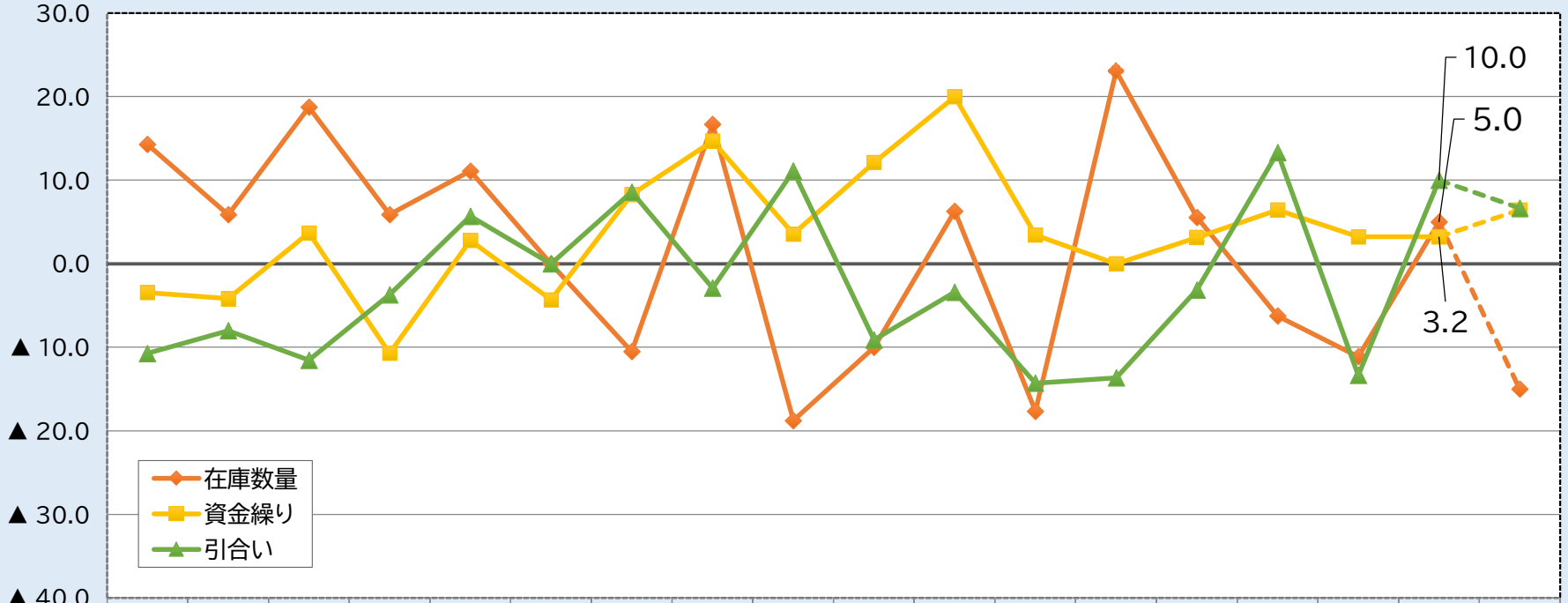


	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	見通し
	R4(2022)年度			R5(2023)年度				R6(2024)年度				R7（2025）年度				R8(2026)年度		
業況	▲ 6.9	▲ 11.5	0.0	28.6	22.2	4.3	16.7	▲ 8.8	0.0	5.9	13.3	▲ 3.4	▲ 9.1	▲ 3.1	6.5	▲ 3.2	12.9	0.0
生産	▲ 37.5	▲ 16.7	▲ 20.0	▲ 25.0	0.0	▲ 22.2	▲ 7.7	▲ 38.5	▲ 8.3	▲ 33.3	9.1	▲ 30.8	▲ 30.0	▲ 28.6	▲ 15.4	▲ 21.4	14.3	▲ 7.1
売上	3.4	3.8	29.6	39.3	41.7	26.1	8.3	8.8	10.7	11.8	23.3	6.9	0.0	0.0	6.5	16.1	29.0	6.5
経常利益	24.1	48.0	18.5	35.7	47.2	52.2	36.1	32.4	42.9	32.4	40.0	17.2	31.8	28.1	35.5	12.9	29.0	22.6

【業況】	今期：+12.9とプラスに転じた。	来期：±0.0となる見通し。
【生産】	今期：+14.3とプラスに転じた。	来期：▲7.1とマイナスに転じる見通し。
【売上】	今期：＋29.0とプラス幅が大幅に拡大した。	来期：+6.5とプラス幅が大幅に縮小する見通し。
【経常利益】	今期：＋29.0とプラス幅が大幅に拡大した。	来期：+22.6とプラス幅が縮小する見通し。

【大企業】②「在庫数量・資金繰り・引合い」の動向

（令和4年度 第2四半期～令和8年度 第2四半期）

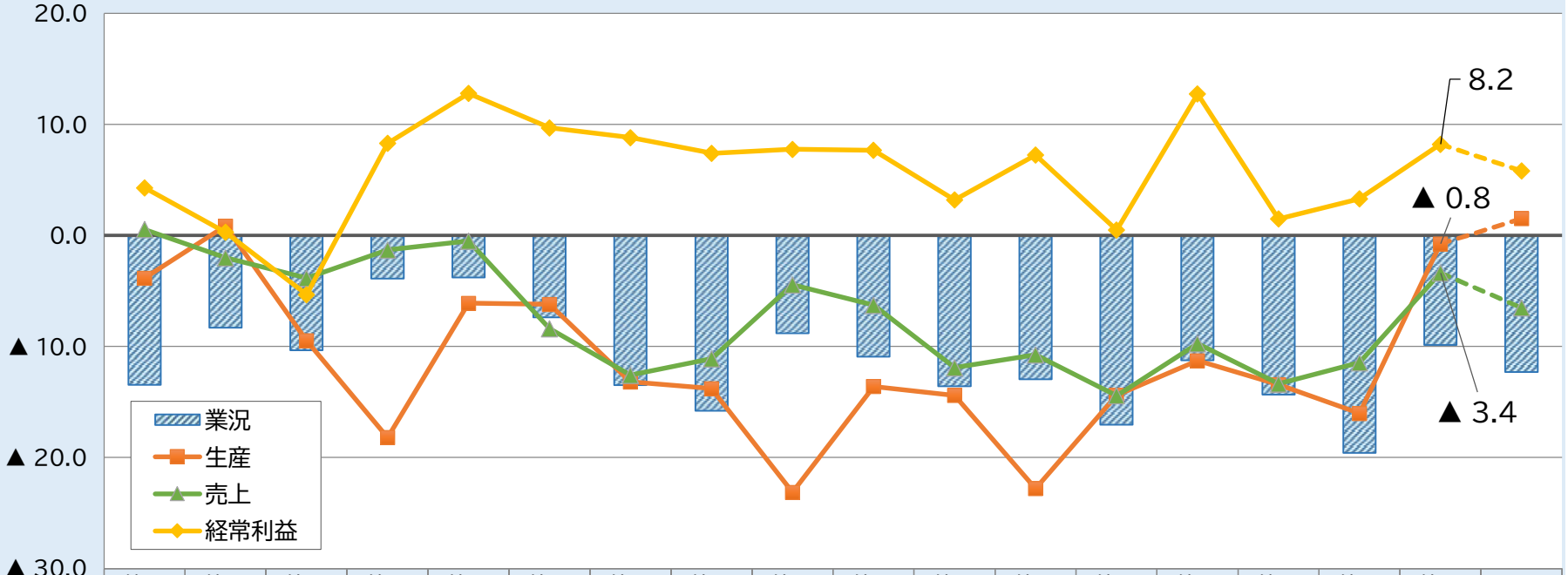


	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	見通し
	R4(2022)年度			R5(2023)年度				R6(2024)年度				R7（2025）年度				R8(2026)年度		
在庫数量	14.3	5.9	18.8	5.9	11.1	0.0	▲ 10.5	16.7	▲ 18.8	▲ 10.0	6.3	▲ 17.6	23.1	5.6	▲ 6.3	▲ 11.1	5.0	▲ 15.0
資金繰り	▲ 3.4	▲ 4.2	3.7	▲ 10.7	2.8	▲ 4.3	8.3	14.7	3.6	12.1	20.0	3.4	0.0	3.1	6.5	3.2	3.2	6.5
引合い	▲ 10.7	▲ 8.0	▲ 11.5	▲ 3.7	5.7	0.0	8.6	▲ 2.9	11.1	▲ 9.1	▲ 3.4	▲ 14.3	▲ 13.6	▲ 3.1	13.3	▲ 13.3	10.0	6.7

【在庫数量】	今期：+5.0とプラスに転じた。	来期：▲15.0とマイナスに転じる見通し。
【資金繰り】	今期：+3.2と同程度で推移した。	来期：+6.5とプラス幅が拡大する見通し。
【引合い】	今期：+10.0とプラスに転じた。	来期：+6.7とプラス幅が縮小する見通し。

【中小企業】①「業況・生産・売上・経常利益」の動向

（令和4年度 第2四半期～令和8年度 第2四半期）

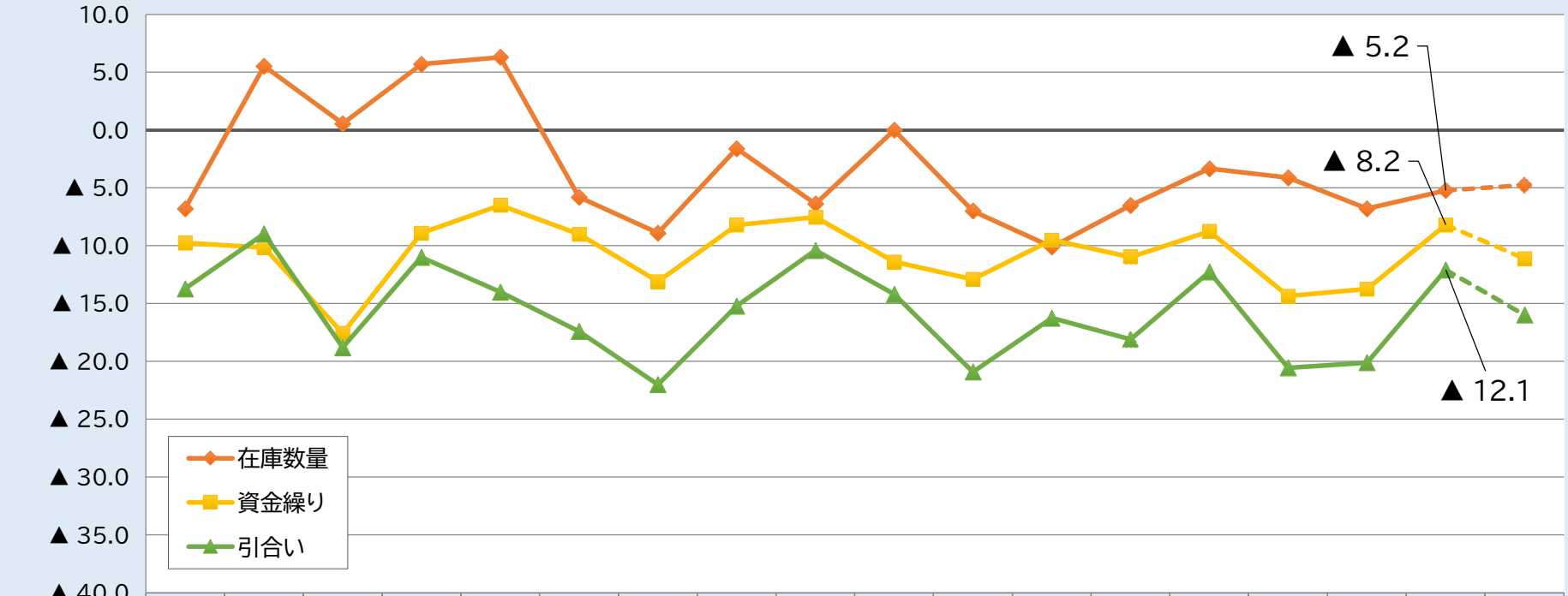


	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	見通し
	R4（2022）年度			R5（2023）年度				R6(2024)年度				R7(2025)年度				R8(2026)年度		
業況	▲ 13.5	▲ 8.3	▲ 10.4	▲ 3.9	▲ 3.8	▲ 7.4	▲ 13.5	▲ 15.8	▲ 8.8	▲ 10.9	▲ 13.6	▲ 13.0	▲ 17.1	▲ 11.3	▲ 14.4	▲ 19.6	▲ 9.9	▲ 12.3
生産	▲ 3.8	0.8	▲ 9.5	▲ 18.2	▲ 6.1	▲ 6.2	▲ 13.2	▲ 13.8	▲ 23.1	▲ 13.6	▲ 14.4	▲ 22.8	▲ 14.4	▲ 11.3	▲ 13.4	▲ 16.0	▲ 0.8	1.5
売上	0.5	▲ 2.0	▲ 3.8	▲ 1.3	▲ 0.5	▲ 8.4	▲ 12.6	▲ 11.1	▲ 4.4	▲ 6.3	▲ 11.9	▲ 10.8	▲ 14.4	▲ 9.8	▲ 13.4	▲ 11.5	▲ 3.4	▲ 6.5
経常利益	4.3	0.3	▲ 5.3	8.3	12.8	9.7	8.8	7.4	7.8	7.7	3.2	7.3	0.5	12.8	1.5	3.3	8.2	5.8

【業況】	今期:▲9.9とマイナス幅が縮小した。	来期:▲12.3とマイナス幅が拡大する見通し。
【生産】	今期:▲0.8とマイナス幅が大幅に縮小した。	来期:+1.5とプラスに転じる見通し。
【売上】	今期:▲3.4とマイナス幅が縮小した。	来期:▲6.5とマイナス幅が拡大する見通し。
【経常利益】	今期:+8.2とプラス幅が拡大した。	来期:+5.8とプラス幅が縮小する見通し。

【中小企業】②「在庫数量・資金繰り・引合い」の動向

（令和4年度 第2四半期～令和8年度 第2四半期）



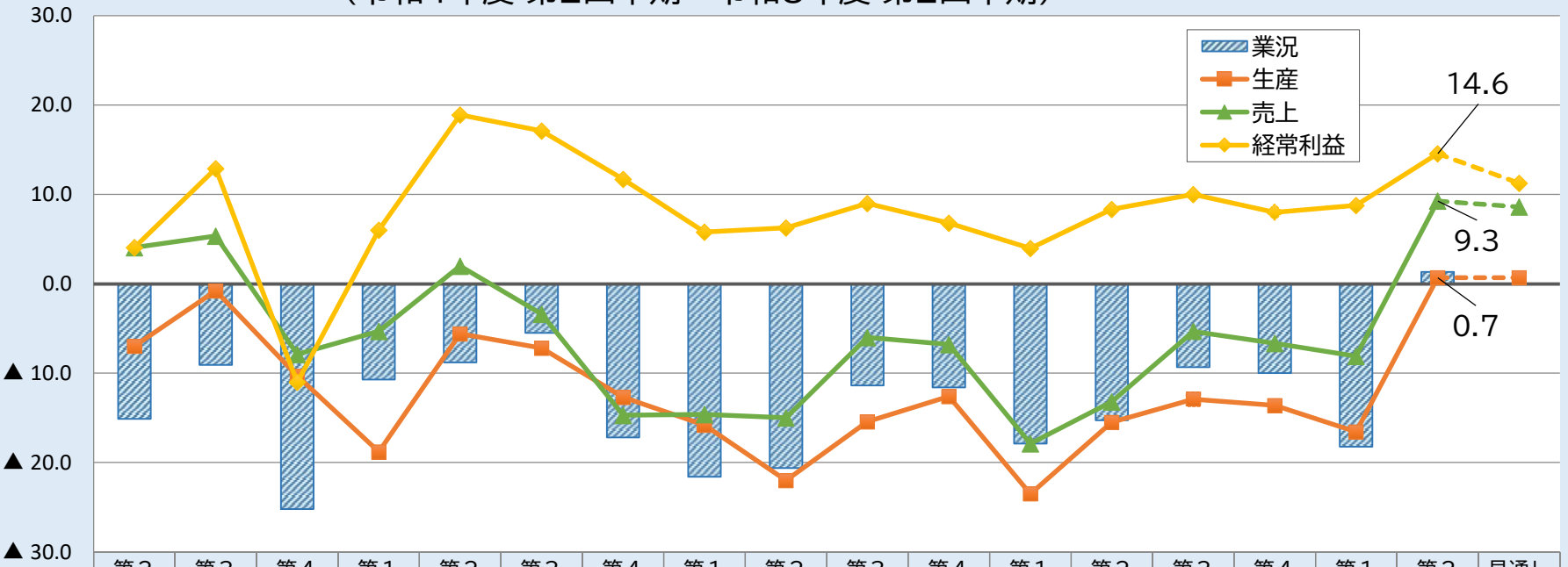
	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	見通し
	R4（2022）年度			R5（2023）年度				R6(2024)年度				R7年度				R8(2026)年度		
在庫数量	▲ 6.8	5.5	0.6	5.7	6.3	▲ 5.8	▲ 8.9	▲ 1.6	▲ 6.4	0.0	▲ 7.0	▲ 10.1	▲ 6.5	▲ 3.3	▲ 4.1	▲ 6.8	▲ 5.2	▲ 4.8
資金繰り	▲ 9.8	▲ 10.1	▲ 17.6	▲ 8.9	▲ 6.5	▲ 9.0	▲ 13.1	▲ 8.2	▲ 7.5	▲ 11.4	▲ 12.9	▲ 9.5	▲ 11.0	▲ 8.8	▲ 14.4	▲ 13.7	▲ 8.2	▲ 11.1
引合い	▲ 13.7	▲ 9.0	▲ 18.8	▲ 11.0	▲ 14.0	▲ 17.4	▲ 22.0	▲ 15.2	▲ 10.4	▲ 14.2	▲ 20.9	▲ 16.3	▲ 18.1	▲ 12.3	▲ 20.5	▲ 20.1	▲ 12.1	▲ 16.0

【在庫数量】	今期:▲5.2とマイナス幅が縮小した。	来期:▲4.8とマイナス幅がやや縮小する見通し。
【資金繰り】	今期:▲8.2とマイナス幅が縮小した。	来期:▲11.1とマイナス幅が拡大する見通し。
【引合い】	今期:▲12.1とマイナス幅が縮小した。	来期:▲16.0とマイナス幅が拡大する見通し。

景況調査結果報告書（令和8年度 第2四半期）

【製造業】①「業況・生産・売上・経常利益」の動向

（令和4年度 第2四半期～令和8年度 第2四半期）

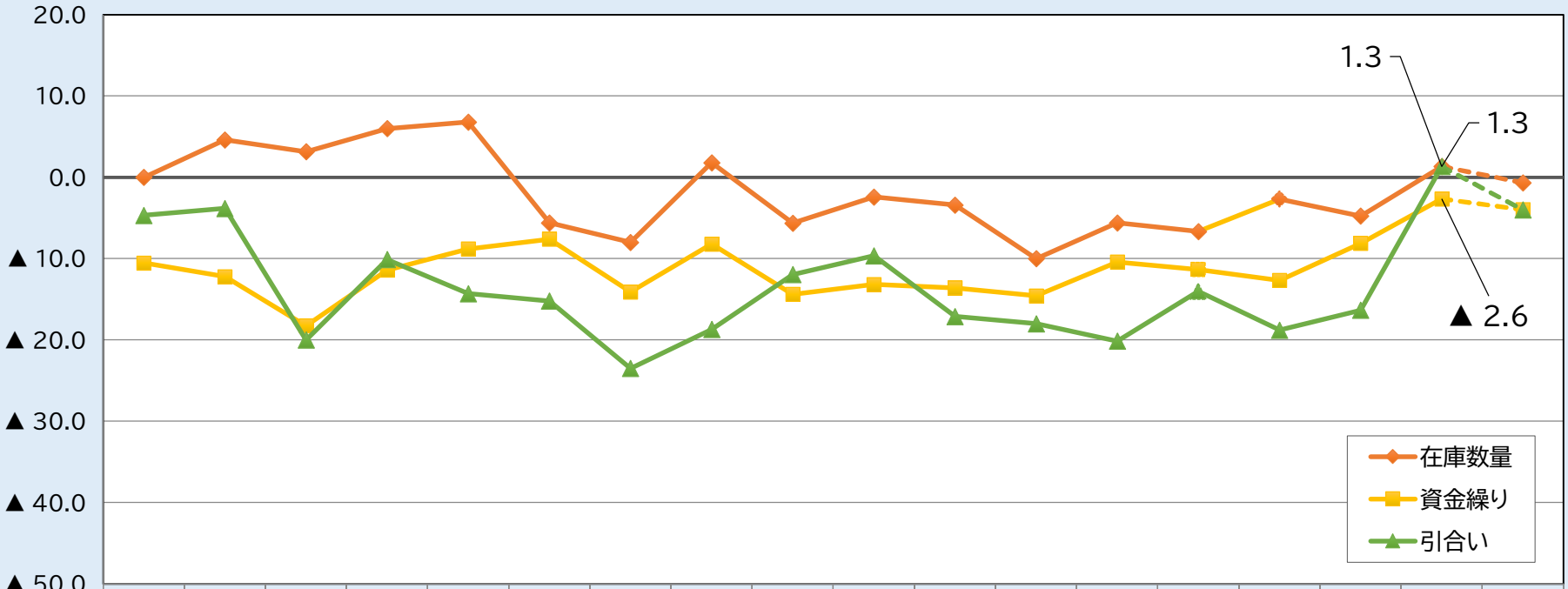


	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	見通し
	R4（2022）年度			R5（2023）年度				R6(2024)年度				R7(2025)年度				R8(2026)年度		
業況	▲ 15.1	▲ 9.1	▲ 25.2	▲ 10.7	▲ 8.8	▲ 5.5	▲ 17.2	▲ 21.6	▲ 20.6	▲ 11.4	▲ 11.6	▲ 17.9	▲ 15.3	▲ 9.3	▲ 10.0	▲ 18.2	1.3	0.0
生産	▲ 7.0	▲ 0.8	▲ 10.3	▲ 18.8	▲ 5.6	▲ 7.2	▲ 12.7	▲ 15.8	▲ 22.0	▲ 15.4	▲ 12.6	▲ 23.5	▲ 15.5	▲ 12.9	▲ 13.6	▲ 16.6	0.7	0.7
売上	4.1	5.3	▲ 7.9	▲ 5.3	2.0	▲ 3.4	▲ 14.7	▲ 14.6	▲ 15.0	▲ 6.0	▲ 6.8	▲ 17.9	▲ 13.2	▲ 5.3	▲ 6.7	▲ 8.1	9.3	8.6
経常利益	4.1	12.9	▲ 11.0	6.0	18.9	17.1	11.7	5.8	6.3	9.0	6.8	4.0	8.3	10.0	8.0	8.8	14.6	11.3

【業況】	今期：+1.3とプラスに転じた。	来期：±0.0となる見通し。
【生産】	今期：+0.7とプラスに転じた。	来期：+0.7と同程度で推移する見通し。
【売上】	今期：+9.3とプラスに転じた。	来期：+8.6とプラス幅がやや縮小する見通し。
【経常利益】	今期：+14.6とプラス幅が拡大した。	来期：+11.3とプラス幅が縮小する見通し。

【製造業】②「在庫数量・資金繰り・引合い」の動向

（令和4年度 第2四半期～令和8年度 第2四半期）

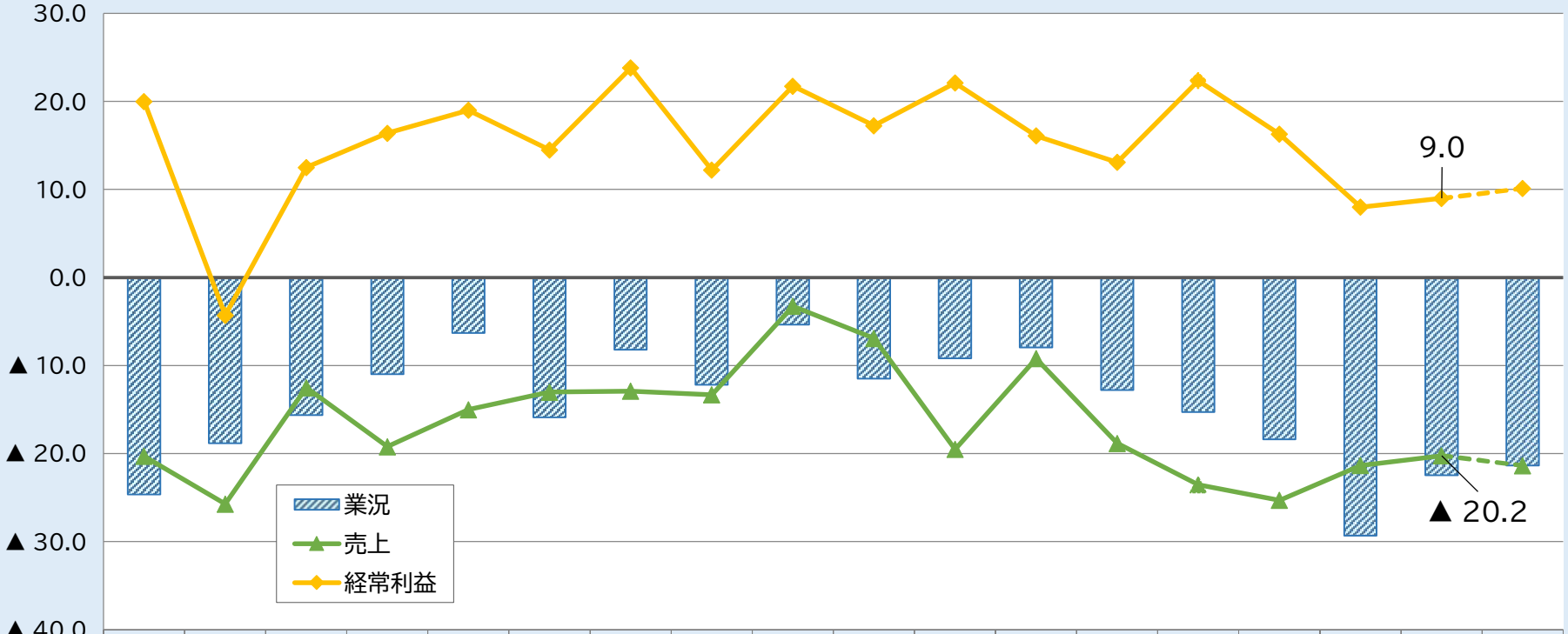


	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	見通し
	R4（2022）年度			R5（2023）年度				R6(2024)年度				R7(2025)年度				R8(2026)年度		
在庫数量	0.0	4.6	3.1	6.0	6.8	▲ 5.6	▲ 8.0	1.8	▲ 5.6	▲ 2.4	▲ 3.4	▲ 10.0	▲ 5.6	▲ 6.7	▲ 2.7	▲ 4.8	1.3	▲ 0.7
資金繰り	▲ 10.5	▲ 12.2	▲ 18.3	▲ 11.4	▲ 8.8	▲ 7.6	▲ 14.1	▲ 8.2	▲ 14.4	▲ 13.2	▲ 13.6	▲ 14.6	▲ 10.4	▲ 11.3	▲ 12.7	▲ 8.1	▲ 2.6	▲ 4.0
引合い	▲ 4.7	▲ 3.8	▲ 20.0	▲ 10.1	▲ 14.3	▲ 15.2	▲ 23.5	▲ 18.7	▲ 11.9	▲ 9.6	▲ 17.1	▲ 18.0	▲ 20.1	▲ 14.0	▲ 18.8	▲ 16.3	1.3	▲ 4.0

【在庫数量】	今期：＋1.3とプラスに転じた。	来期：▲0.7とマイナスに転じる見通し。
【資金繰り】	今期：▲2.6とマイナス幅が縮小した。	来期：▲4.0とマイナス幅が拡大する見通し。
【引合い】	今期：＋1.3とプラスに転じた。	来期：▲4.0とマイナスに転じる見通し。

【建設業】①「業況・売上・経常利益」の動向

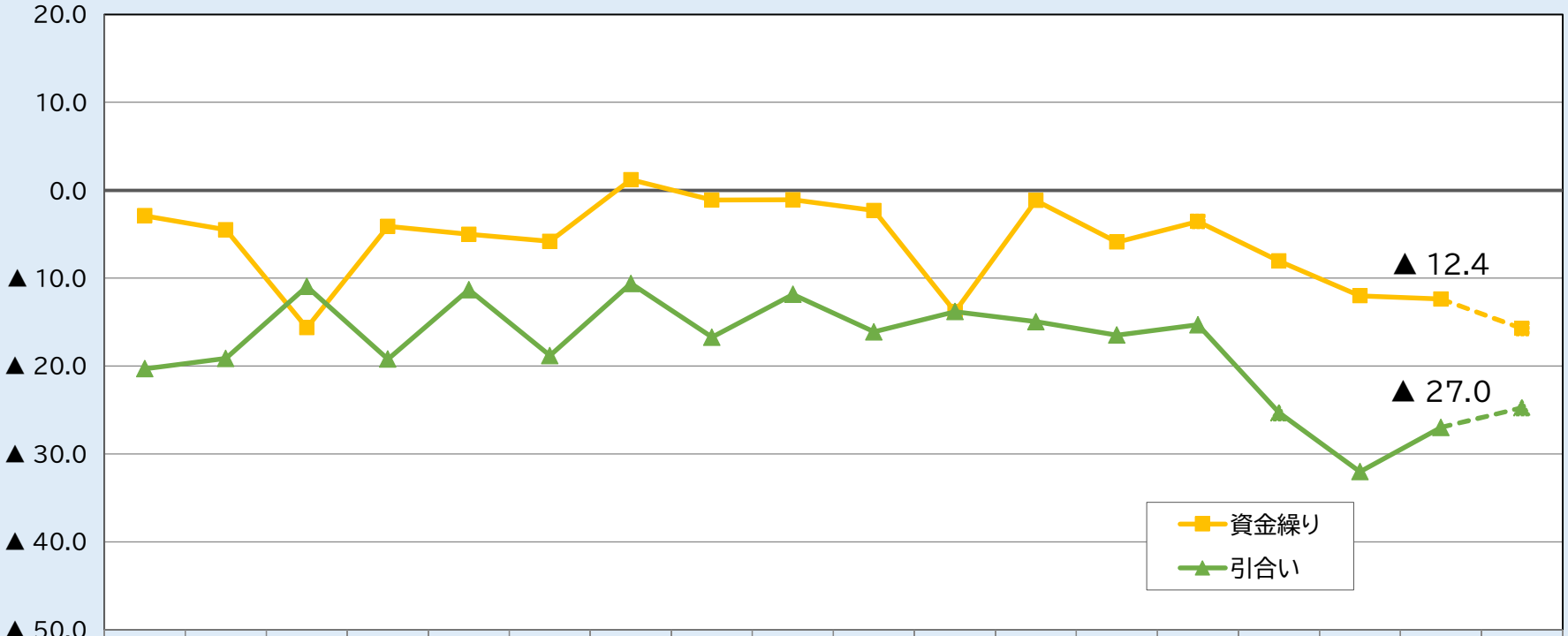
（令和4年度 第2四半期～令和8年度 第2四半期）



	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	見通し
	R4（2022）年度			R5（2023）年度				R6(2024)年度				R7（2025）年度				R8(2026)年度		
業況	▲ 24.6	▲ 18.8	▲ 15.6	▲ 11.0	▲ 6.3	▲ 15.9	▲ 8.2	▲ 12.2	▲ 5.4	▲ 11.5	▲ 9.2	▲ 8.0	▲ 12.8	▲ 15.3	▲ 18.4	▲ 29.3	▲ 22.5	▲ 21.3
売上	▲ 20.3	▲ 25.7	▲ 12.5	▲ 19.2	▲ 15.0	▲ 13.0	▲ 12.9	▲ 13.3	▲ 3.3	▲ 6.9	▲ 19.5	▲ 9.2	▲ 18.8	▲ 23.5	▲ 25.3	▲ 21.3	▲ 20.2	▲ 21.3
経常利益	20.0	▲ 4.3	12.5	16.4	19.0	14.5	23.8	12.2	21.7	17.2	22.1	16.1	13.1	22.4	16.3	8.0	9.0	10.1

【業況】	今期：▲22.5とマイナス幅が縮小した。	来期：▲21.3とマイナス幅が縮小する見通し。
【売上】	今期：▲20.2とマイナス幅が縮小した。	来期：▲21.3とマイナス幅が拡大する見通し。
【経常利益】	今期：+9.0とプラス幅がやや拡大した。	来期：+10.1とプラス幅が拡大する見通し。

【建設業】②「資金繰り・引合い」の動向
（令和4年度 第2四半期～令和8年度 第2四半期）

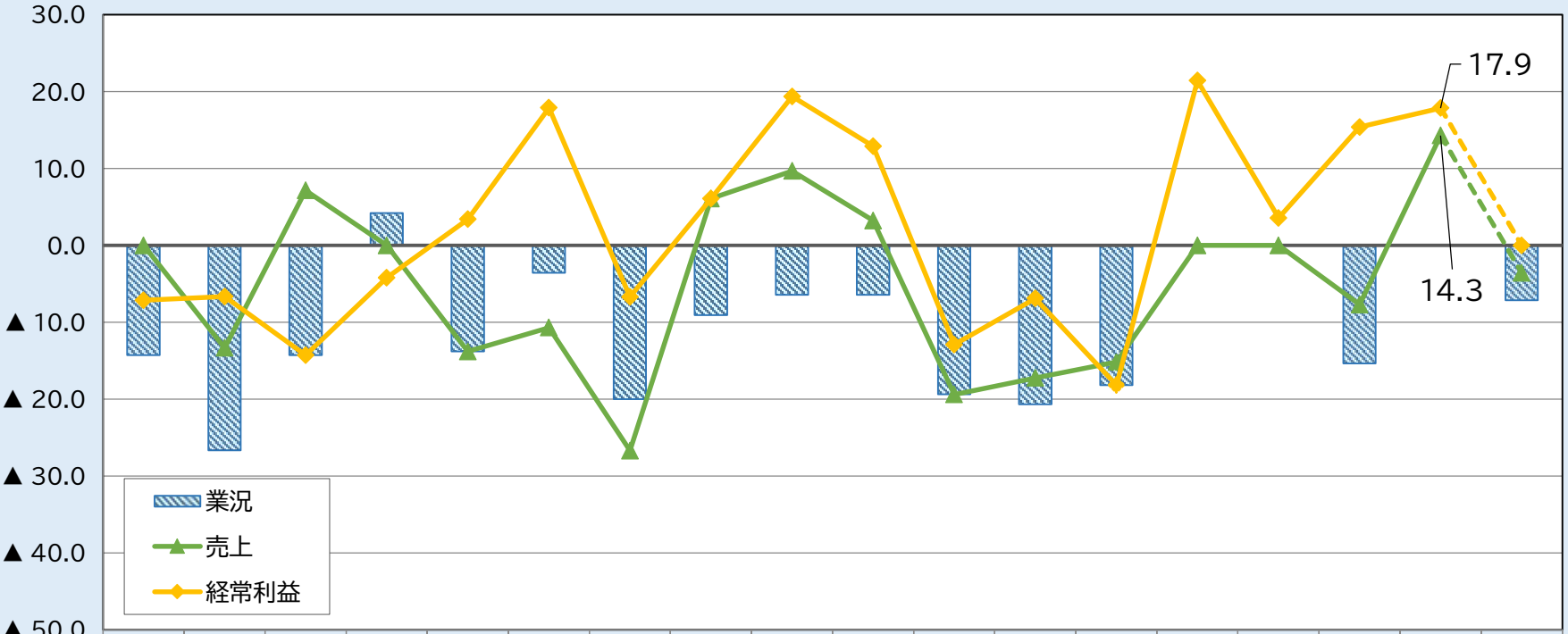


	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	見通し
	R4（2022）年度			R5(2023)年度				R6(2024)年度				R7（2025）年度				R8(2026)年度		
資金繰り	▲ 2.9	▲ 4.5	▲ 15.6	▲ 4.1	▲ 5.0	▲ 5.8	1.2	▲ 1.1	▲ 1.1	▲ 2.3	▲ 13.8	▲ 1.1	▲ 5.9	▲ 3.5	▲ 8.0	▲ 12.0	▲ 12.4	▲ 15.7
引合い	▲ 20.3	▲ 19.1	▲ 10.9	▲ 19.2	▲ 11.3	▲ 18.8	▲ 10.6	▲ 16.7	▲ 11.8	▲ 16.1	▲ 13.8	▲ 14.9	▲ 16.5	▲ 15.3	▲ 25.3	▲ 32.0	▲ 27.0	▲ 24.7

【資金繰り】	今期：▲12.4とマイナス幅がやや拡大した。	来期：▲15.7とマイナス幅が拡大する見通し。
【引合い】	今期：▲27.0とマイナス幅が拡大した。	来期：▲24.7とマイナス幅が縮小する見通し。

【卸売業】①「業況・売上・経常利益」の動向

（令和4年度 第2四半期～令和8年度 第2四半期）

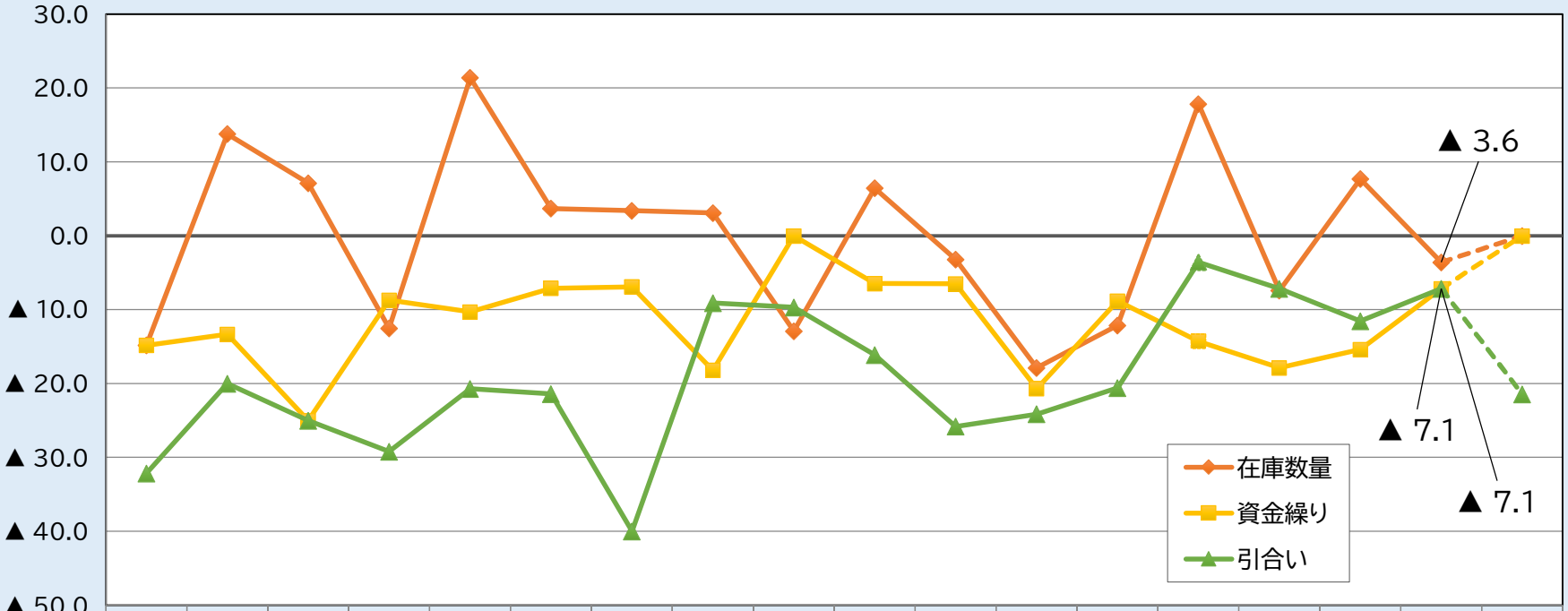


	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	見通し
	R4（2022）年度			R5（2023）年度				R6(2024)年度				R7（2025）年度				R8(2026)年度		
業況	▲ 14.3	▲ 26.7	▲ 14.3	4.2	▲ 13.8	▲ 3.6	▲ 20.0	▲ 9.1	▲ 6.5	▲ 6.5	▲ 19.4	▲ 20.7	▲ 18.2	0.0	0.0	▲ 15.4	0.0	▲ 7.1
売上	0.0	▲ 13.3	7.1	0.0	▲ 13.8	▲ 10.7	▲ 26.7	6.1	9.7	3.2	▲ 19.4	▲ 17.2	▲ 15.2	0.0	0.0	▲ 7.7	14.3	▲ 3.6
経常利益	▲ 7.1	▲ 6.7	▲ 14.3	▲ 4.2	3.4	17.9	▲ 6.7	6.1	19.4	12.9	▲ 12.9	▲ 6.9	▲ 18.2	21.4	3.6	15.4	17.9	0.0

【業況】	今期：±0.0となった。	来期：▲7.1とマイナスに転じる見通し。
【売上】	今期：＋14.3とプラスに転じた。	来期：▲3.6とマイナスに転じる見通し。
【経常利益】	今期：＋17.9とプラス幅が拡大した。	来期：±0.0となる見通し。

【卸売業】②「在庫数量・資金繰り・引合い」の動向

（令和4年度 第2四半期～令和8年度 第2四半期）

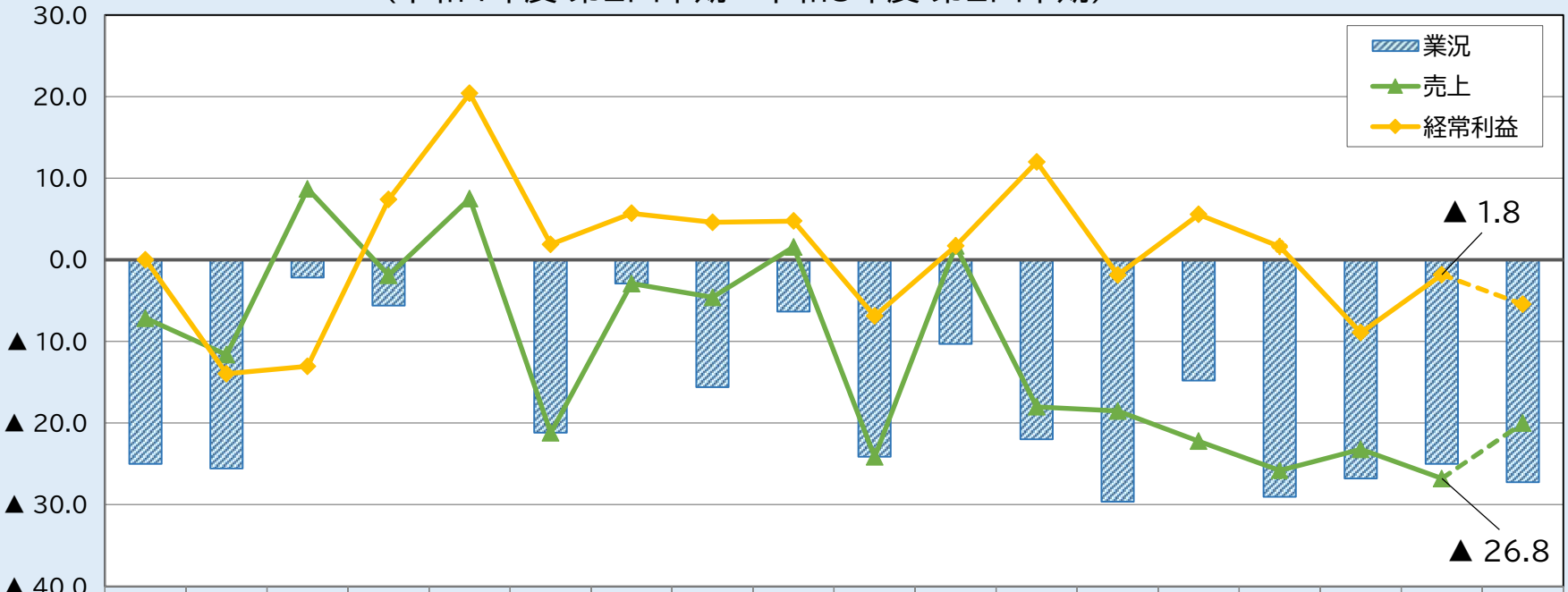


	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	見通し
	R4（2022）年度			R5（2023）年度				R6(2024)年度				R7（2025）年度				R8(2026)年度		
在庫数量	▲ 14.8	13.8	7.1	▲ 12.5	21.4	3.7	3.4	3.1	▲ 12.9	6.5	▲ 3.2	▲ 17.9	▲ 12.1	17.9	▲ 7.4	7.7	▲ 3.6	0.0
資金繰り	▲ 14.8	▲ 13.3	▲ 25.0	▲ 8.7	▲ 10.3	▲ 7.1	▲ 6.9	▲ 18.2	0.0	▲ 6.5	▲ 6.5	▲ 20.7	▲ 8.8	▲ 14.3	▲ 17.9	▲ 15.4	▲ 7.1	0.0
引合い	▲ 32.1	▲ 20.0	▲ 25.0	▲ 29.2	▲ 20.7	▲ 21.4	▲ 40.0	▲ 9.1	▲ 9.7	▲ 16.1	▲ 25.8	▲ 24.1	▲ 20.6	▲ 3.6	▲ 7.1	▲ 11.5	▲ 7.1	▲ 21.4

【在庫数量】	今期：▲3.6とマイナスに転じた。	来期：±0.0となる見通し。
【資金繰り】	今期：▲7.1とマイナス幅が縮小した。	来期：±0.0となる見通し。
【引合い】	今期：▲7.1とマイナス幅が縮小した。	来期：▲21.4とマイナス幅が大幅に拡大する見通し。

【小売業】①「業況・売上・経常利益」の動向

（令和4年度 第2四半期～令和8年度 第2四半期）

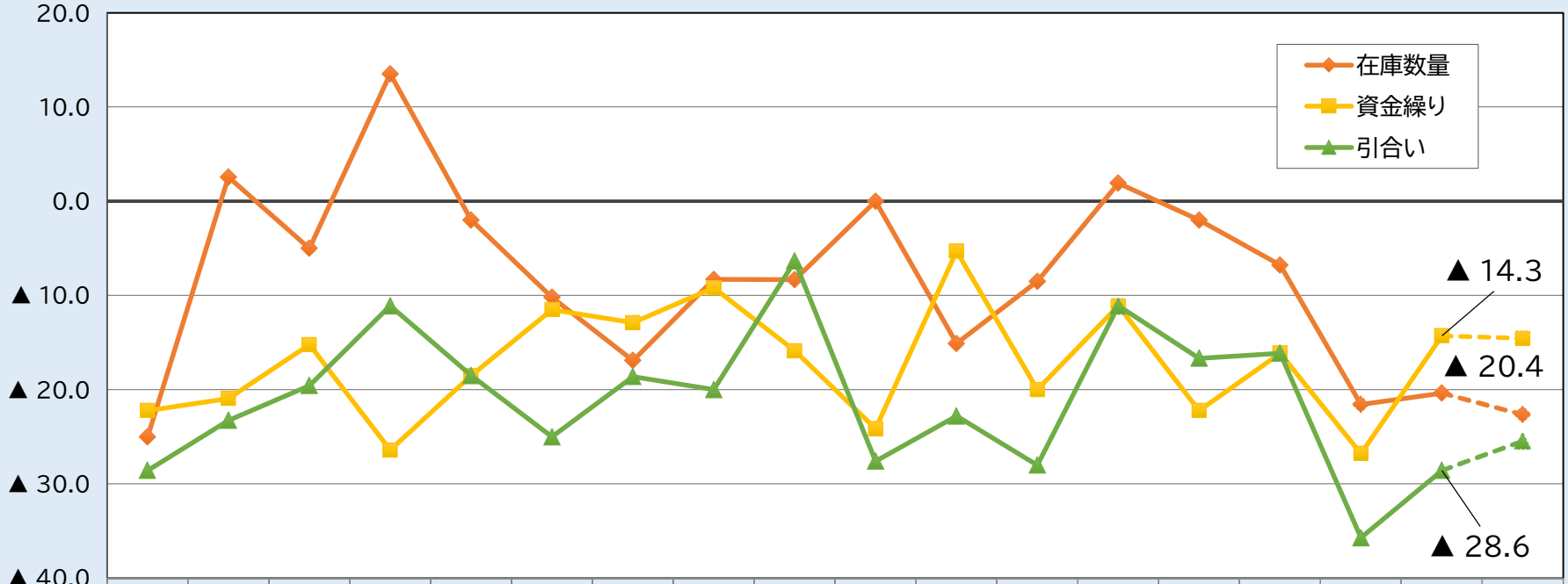


	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	見通し
	R4（2022）年度			R5（2023）年度				R6(2024)年度				R7（2025）年度				R8(2026)年度		
業況	▲ 25.0	▲ 25.6	▲ 2.2	▲ 5.6	0.0	▲ 21.2	▲ 2.9	▲ 15.6	▲ 6.3	▲ 24.1	▲ 10.3	▲ 22.0	▲ 29.6	▲ 14.8	▲ 29.0	▲ 26.8	▲ 25.0	▲ 27.3
売上	▲ 7.1	▲ 11.6	8.7	▲ 1.9	7.5	▲ 21.2	▲ 2.9	▲ 4.6	1.6	▲ 24.1	1.7	▲ 18.0	▲ 18.5	▲ 22.2	▲ 25.8	▲ 23.2	▲ 26.8	▲ 20.0
経常利益	0.0	▲ 14.0	▲ 13.0	7.4	20.4	1.9	5.7	4.6	4.8	▲ 6.9	1.7	12.0	▲ 1.9	5.6	1.6	▲ 8.9	▲ 1.8	▲ 5.5

【業況】	今期:▲25.0とマイナス幅が縮小した。	来期:▲27.3とマイナス幅が拡大する見通し。
【売上】	今期:▲26.8とマイナス幅が拡大した。	来期:▲20.0とマイナス幅が縮小する見通し。
【経常利益】	今期:▲1.8とマイナス幅が縮小した。	来期:▲5.5とマイナス幅が拡大する見通し。

【小売業】②「在庫数量・資金繰り・引合い」の動向

（令和4年度 第2四半期～令和8年度 第2四半期）

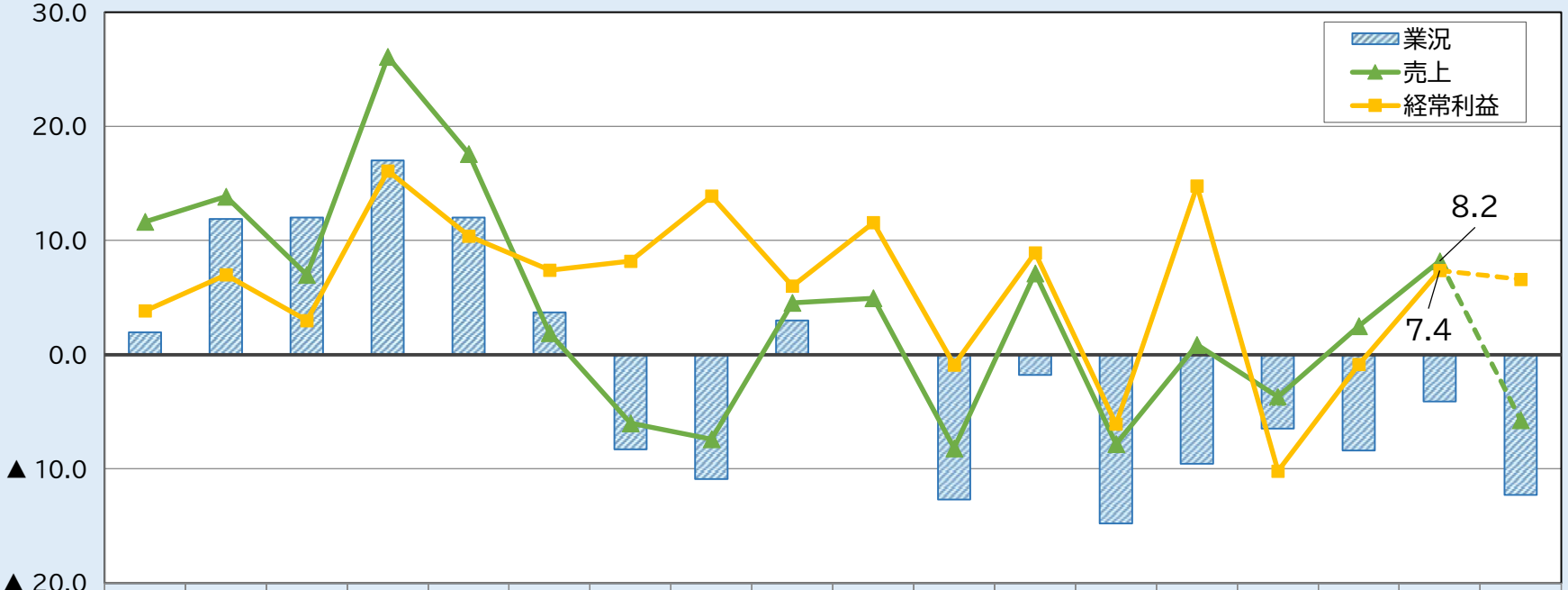


	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	見通し
	R4（2022）年度			R5（2023）年度				R6(2024)年度				R7（2025）年度				R8(2026)年度		
在庫数量	▲ 25.0	2.6	▲ 5.0	13.5	▲ 2.0	▲ 10.2	▲ 16.9	▲ 8.3	▲ 8.3	0.0	▲ 15.1	▲ 8.5	1.9	▲ 2.0	▲ 6.8	▲ 21.6	▲ 20.4	▲ 22.6
資金繰り	▲ 22.2	▲ 20.9	▲ 15.2	▲ 26.4	▲ 18.5	▲ 11.5	▲ 12.9	▲ 9.2	▲ 15.9	▲ 24.1	▲ 5.3	▲ 20.0	▲ 11.1	▲ 22.2	▲ 16.1	▲ 26.8	▲ 14.3	▲ 14.5
引合い	▲ 28.6	▲ 23.3	▲ 19.6	▲ 11.1	▲ 18.5	▲ 25.0	▲ 18.6	▲ 20.0	▲ 6.3	▲ 27.6	▲ 22.8	▲ 28.0	▲ 11.1	▲ 16.7	▲ 16.1	▲ 35.7	▲ 28.6	▲ 25.5

【在庫数量】	今期:▲20.4とマイナス幅が縮小した。	来期:▲22.6とマイナス幅が拡大する見通し。
【資金繰り】	今期:▲14.3とマイナス幅が大幅に縮小した。	来期:▲14.5とマイナス幅がやや拡大する見通し。
【引合い】	今期:▲28.6とマイナス幅が縮小した。	来期:▲25.5とマイナス幅が縮小する見通し。

【サービス業】①「業況・売上・経常利益」の動向

（令和4年度 第2四半期～令和8年度 第2四半期）

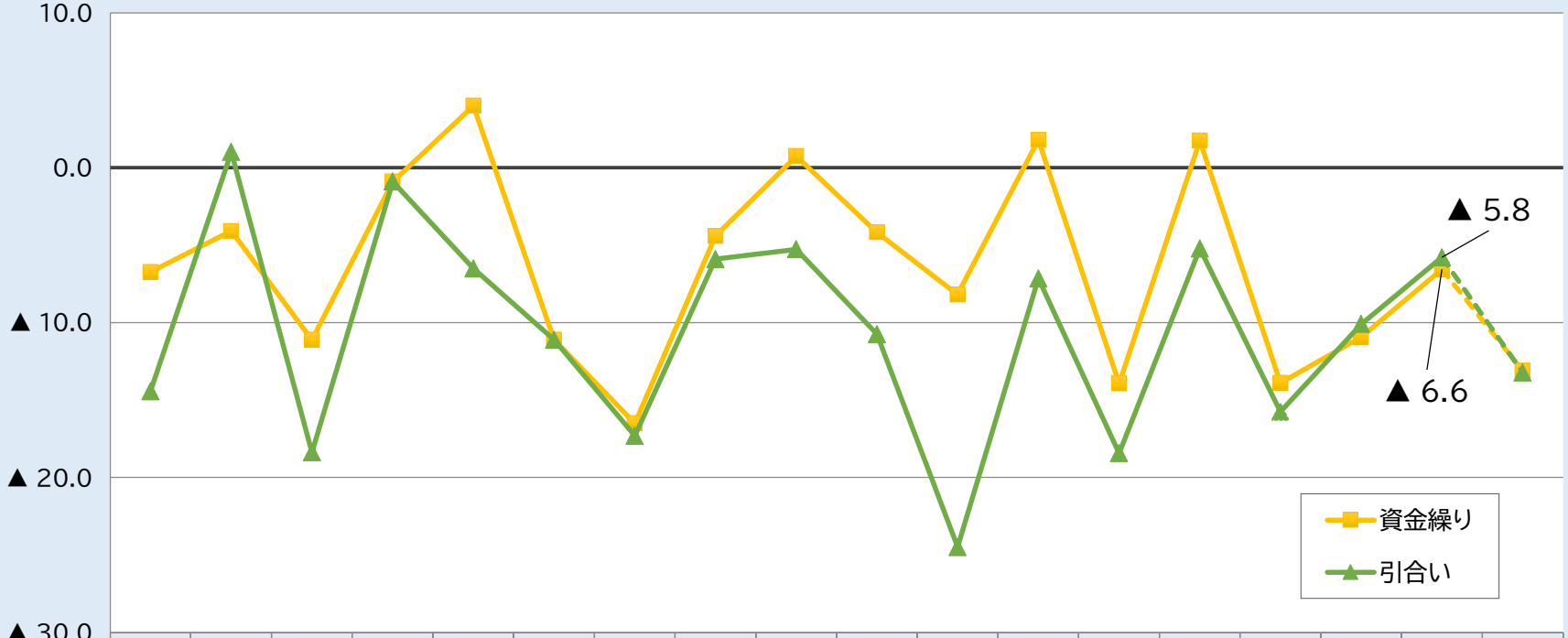


	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	見通し
	R4（2022）年度			R5（2023）年度				R6(2024)年度				R7（2025）年度				R8(2026)年度		
業況	1.9	11.9	12.0	17.0	12.0	3.7	▲ 8.3	▲ 10.9	3.0	0.0	▲ 12.7	▲ 1.8	▲ 14.8	▲ 9.6	▲ 6.5	▲ 8.4	▲ 4.1	▲ 12.3
売上	11.7	13.9	7.0	26.1	17.6	1.9	▲ 6.0	▲ 7.4	4.5	5.0	▲ 8.2	7.1	▲ 7.8	0.9	▲ 3.7	2.5	8.2	▲ 5.7
経常利益	3.8	7.0	3.0	16.1	10.4	7.4	8.2	13.9	6.0	11.6	▲ 0.9	8.9	▲ 6.1	14.8	▲ 10.2	▲ 0.8	7.4	6.6

【業況】	今期：▲4.1とマイナス幅が縮小した。	来期：▲12.3とマイナス幅が拡大する見通し。
【売上】	今期：＋8.2とプラス幅が拡大した。	来期：▲5.7とマイナスに転じる見通し。
【経常利益】	今期：＋7.4とプラスに転じた。	来期：＋6.6とマイナス幅がやや縮小する見通し。

【サービス業】②「資金繰り・引合い」の動向

（令和4年度 第2四半期～令和8年度 第2四半期）



	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	見通し
	R4（2022）年度			R5（2023）年度				R6(2024)年度				R7（2025）年度				R8(2026)年度		
資金繰り	▲ 6.7	▲ 4.1	▲ 11.1	▲ 0.9	4.0	▲ 11.1	▲ 16.5	▲ 4.4	0.8	▲ 4.2	▲ 8.2	1.8	▲ 13.9	1.7	▲ 13.9	▲ 10.9	▲ 6.6	▲ 13.1
引合い	▲ 14.4	1.0	▲ 18.4	▲ 0.9	▲ 6.5	▲ 11.1	▲ 17.3	▲ 5.9	▲ 5.3	▲ 10.7	▲ 24.5	▲ 7.1	▲ 18.4	▲ 5.2	▲ 15.7	▲ 10.1	▲ 5.8	▲ 13.2

【資金繰り】	今期：▲6.6とマイナス幅が縮小した。	来期：▲13.1とマイナス幅が拡大する見通し。
【引合い】	今期：▲5.8とマイナス幅が縮小した。	来期：▲13.2とマイナス幅が拡大する見通し。

景況調査結果報告書（令和8年度 第2四半期）

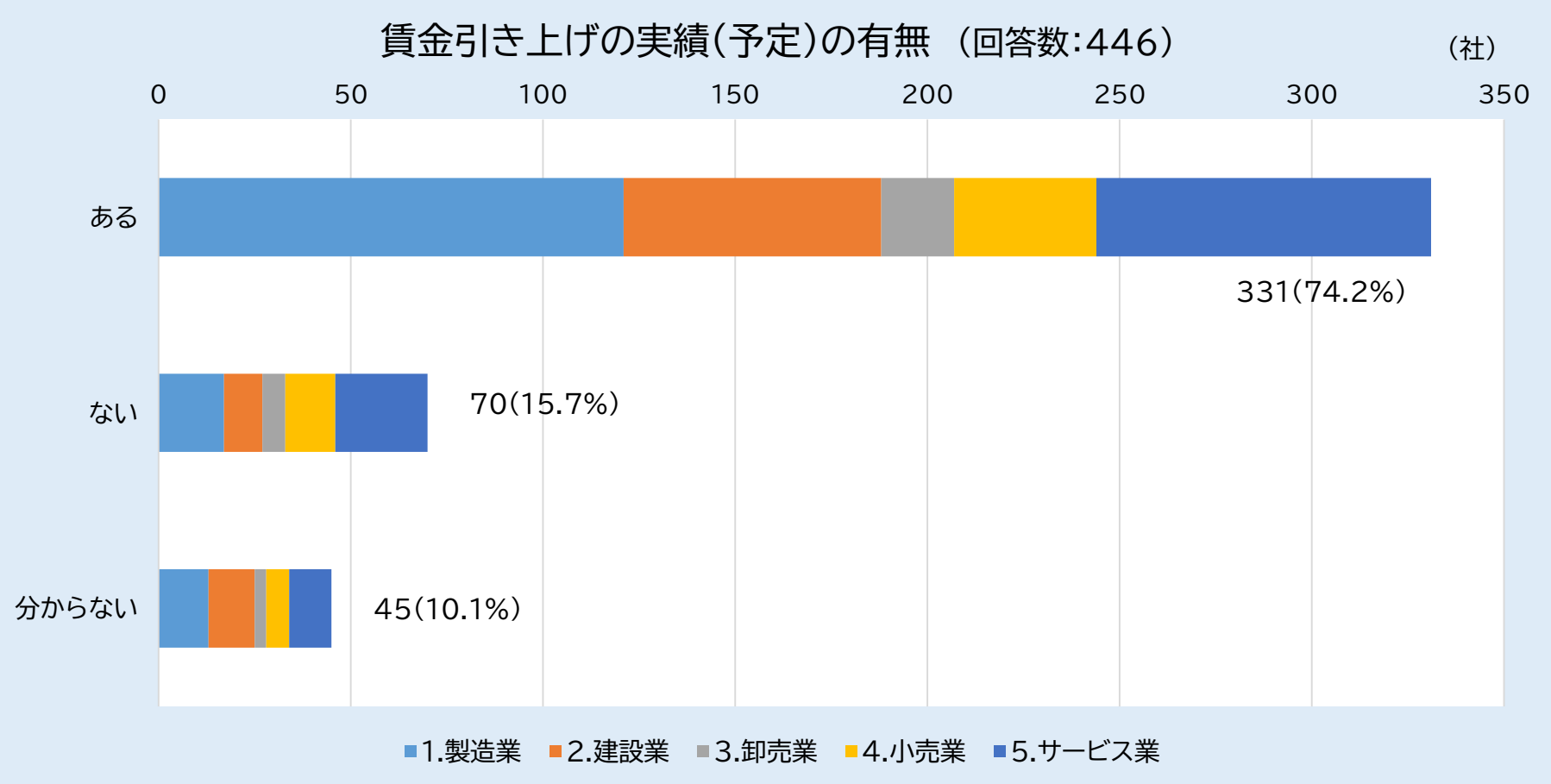
業況判断	企業コメント	業種
好転	AI等の普及により、半導体需要が高まり、来期の受注生産等の見通しも今期の倍近いものとなっている。	製造業
	新製品の受注が好調である	製造業
	引合いについては、維持修繕工事、協力会社の工事を中心に一定数あり、今後も堅調に推移することを期待している。一方、人手不足を考慮した受注判断が必要。	建設業
	販売価格変更を予定しているが、採算分岐点の上昇が止まらないので、楽観視はできない。	サービス業
不変	原材料高騰による販売価格転嫁分が売上高として上昇。利益率等については不変。	製造業
	人件費の高騰と資材の値上がりがかなり経常利益を圧迫している。	製造業
	インバウンド効果もあり、受注は堅調ながら中東情勢悪化の長期化や円安による原材料の高騰、品薄、人員不足にともなう人件費高騰により原価高騰しており、収支への影響が懸念される。	製造業
	中東情勢の不安により、設備投資の縮小が懸念される。	建設業
	2027年消費税減税の影響は一定程度あると認識しているが、限定的とみている。	小売業
	仕事は余るほどあるが、人手不足でなかなか仕事がこなせない。	サービス業
悪化	売上高は昨年とほぼ変わらないが、原価高により減益。人手不足については慢性的で、計画的な採用ができていない。	建設業
	石油関連商品、材料の入荷が不透明で商売にならない。	卸売業
	卸原価の値上がりで、小売販売価格も上げざるを得ない。客数の減が著しい。粗利を落として販売価格をつけざるを得ないが、それでも客数、買上率の低下は免れない。値引販売のセール時のみ売上あがる。	小売業
	原油高の影響による生産の減少が影響して売り上げが落ちてきている。	サービス業

【追加設問１】

賃金の引上げについて

賃金引き上げの実績（予定）の有無（全体）

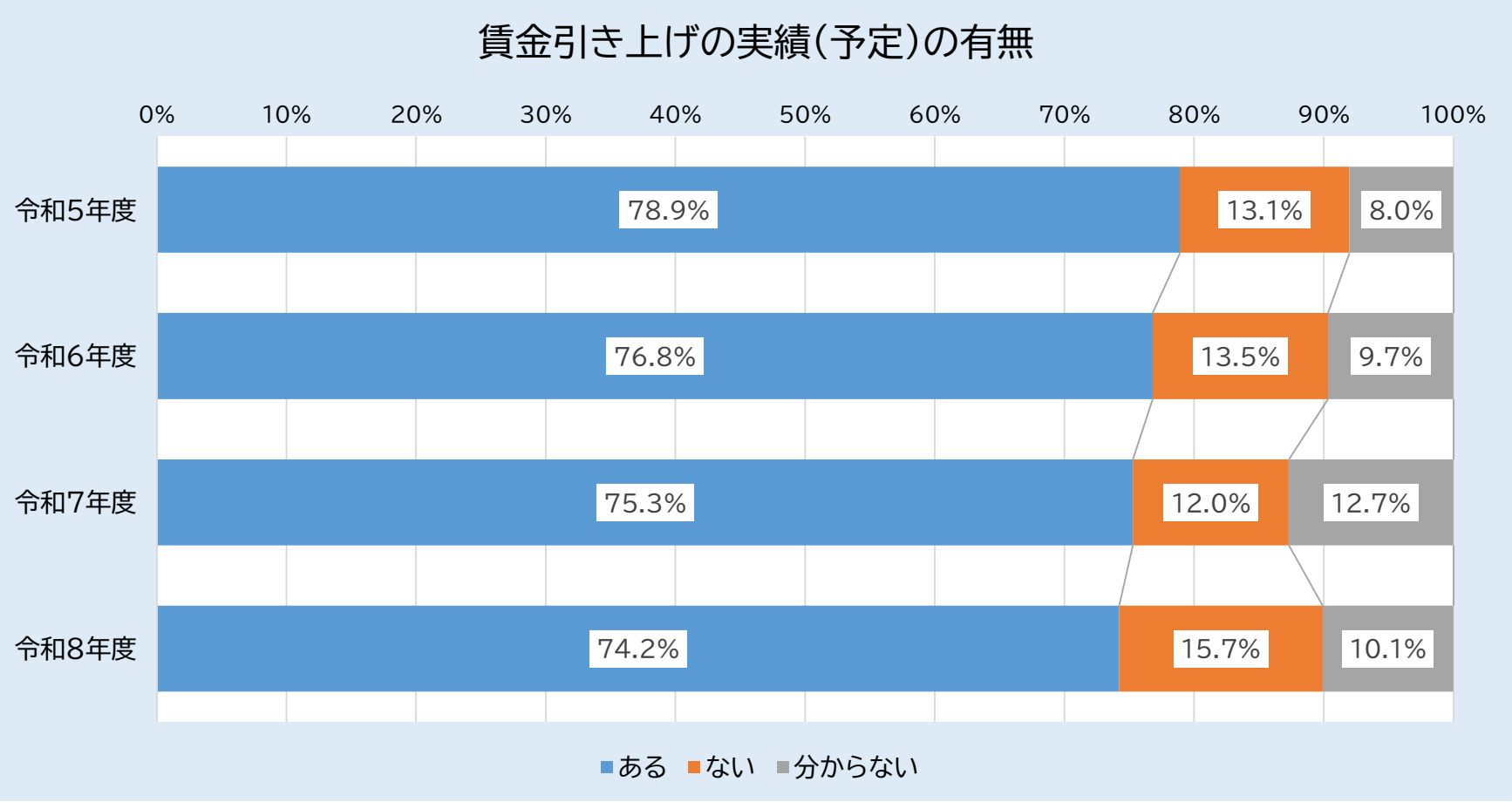
- 賃金引き上げの実績（または予定）について尋ねたところ、「ある」が 74.2 %であった。



※端数の四捨五入により、各項目の合計が100%とならない場合がある

賃金引き上げの実績（予定）の有無（令和5年度からの比較）

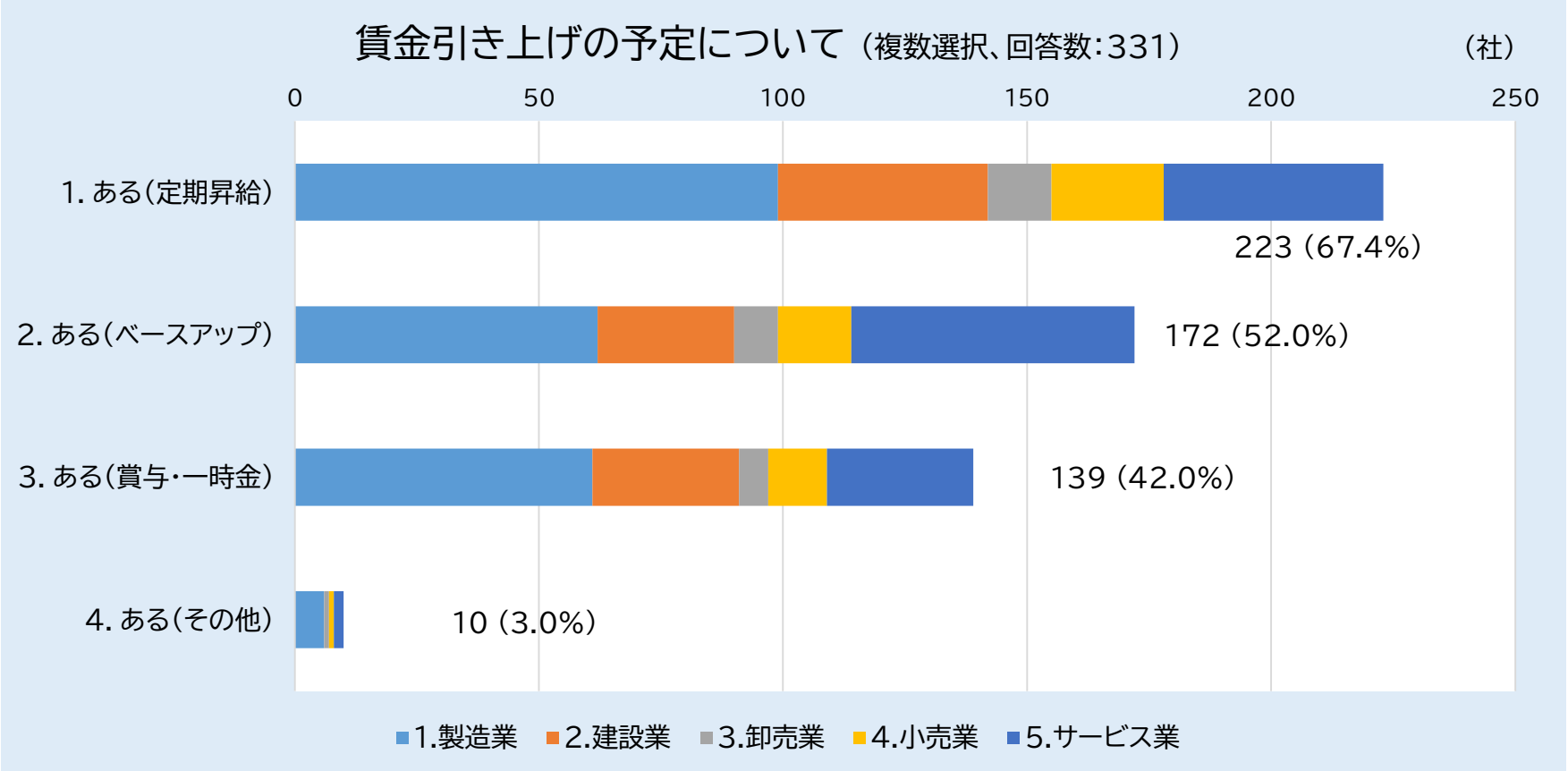
- 賃金引き上げの実績（または予定）について、令和5年度から令和8年度までを比較したところ、「ある」の割合が減少傾向となった。



※端数の四捨五入により、各項目の合計が100%とならない場合がある

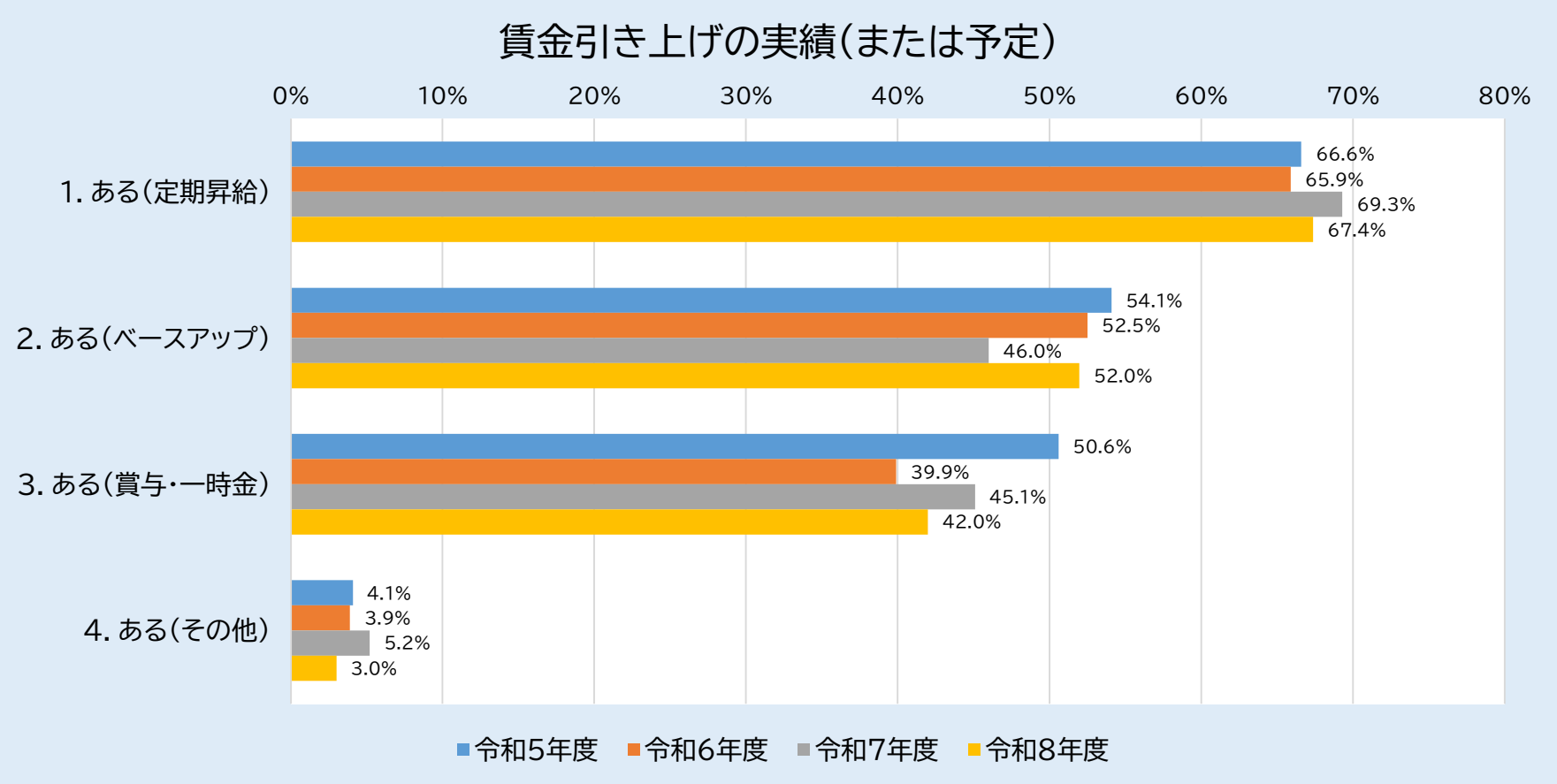
賃金引き上げの内容

- 今年度、賃金引き上げの実績・予定がある事業所を対象に、引き上げの内容を複数回答で尋ねたところ、「定期昇給」が最も多く、次いで「ベースアップ」、「賞与・一時金」の順に多かった。
- 「その他」の内容：最低賃金改定に伴う引き上げ等



賃金引き上げの内容（令和5年度からの比較）

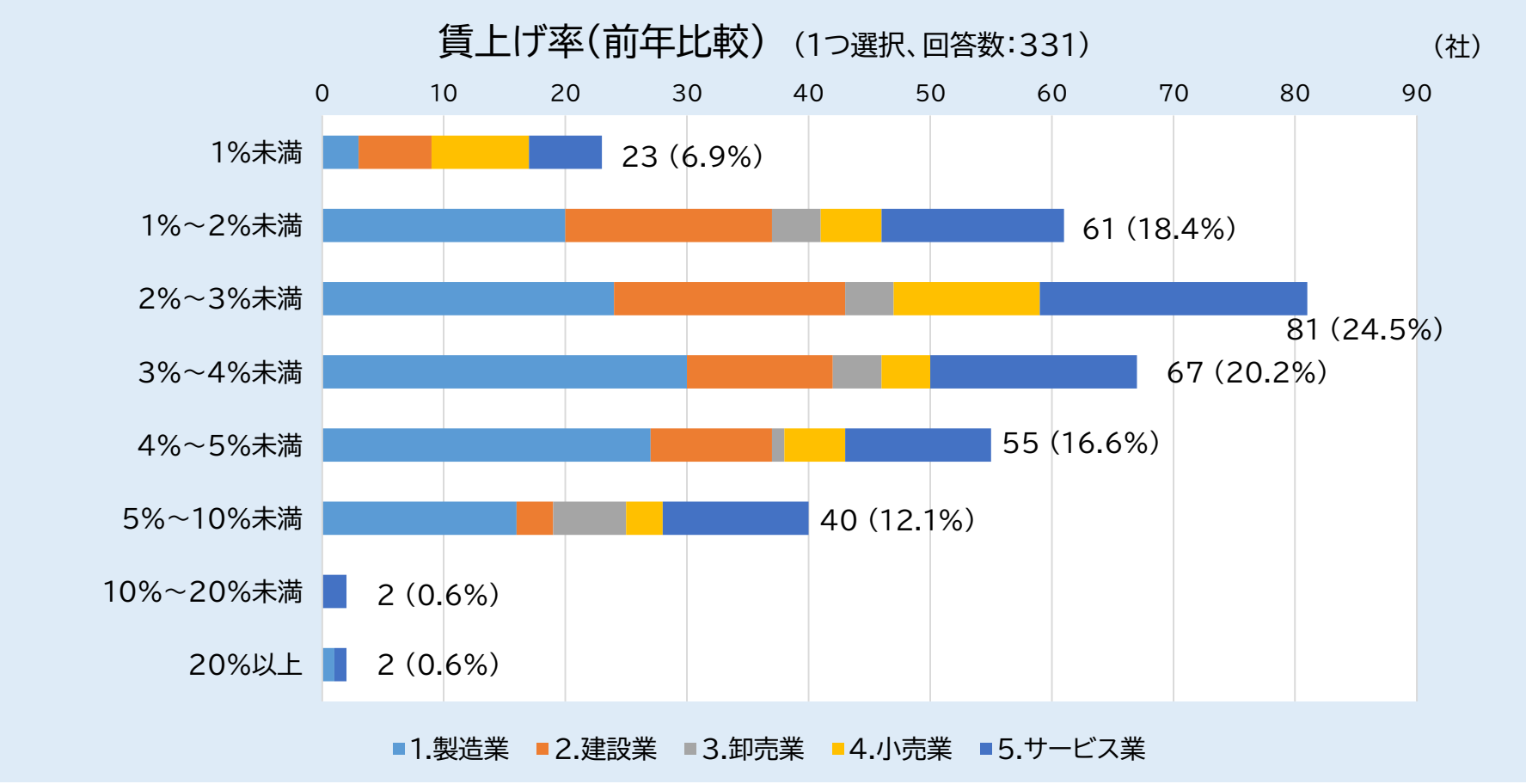
- 賃金引き上げの内容について、令和5年度から令和8年度までを比較したところ、「ある（ベースアップ）」以外の項目の割合が減少した。



※複数回答により、各項目の合計が100%とならない。

賃上げ率

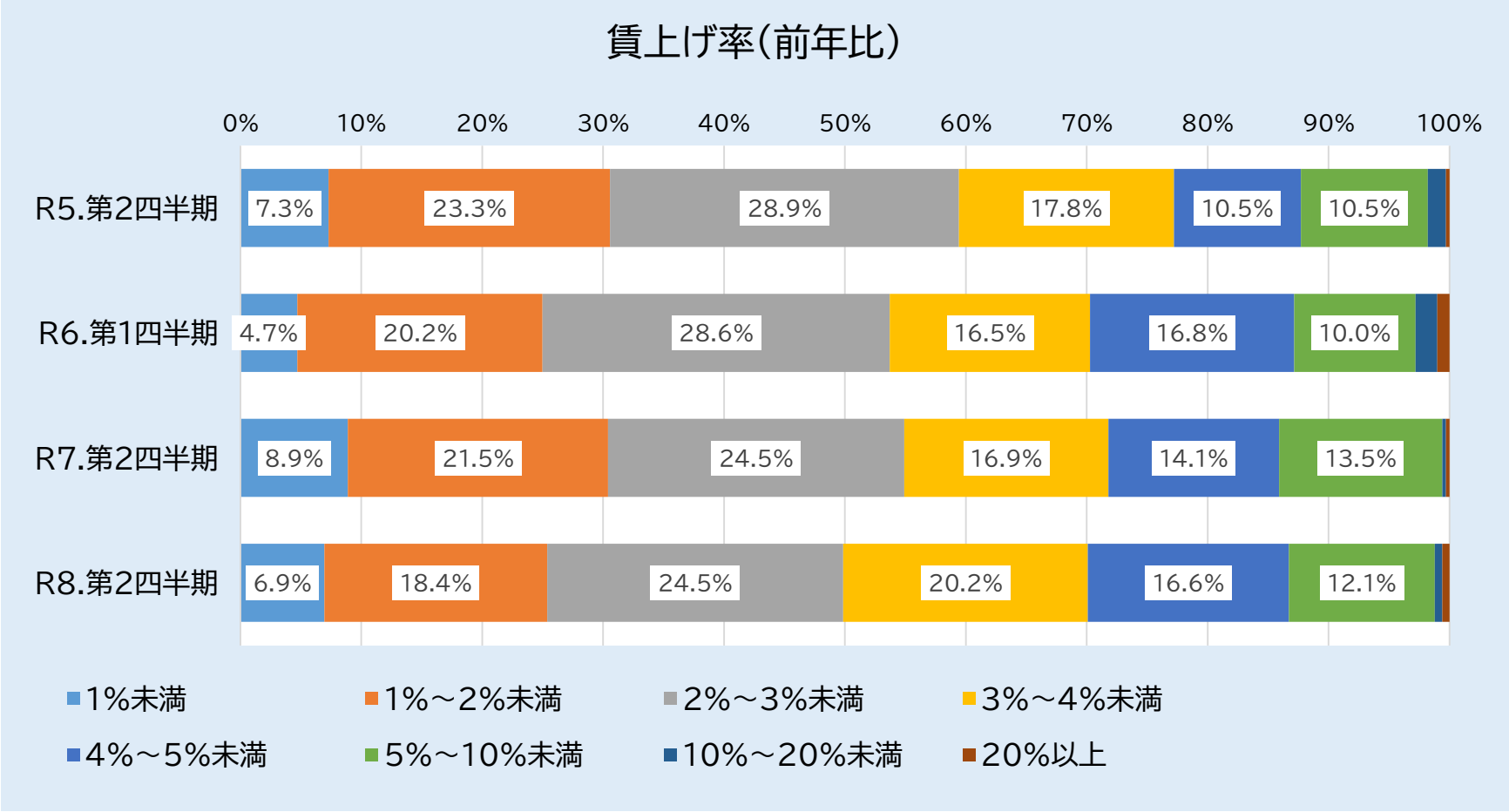
- 賃上げ率（前年比）を尋ねたところ、「2%～3%未満」が最も多く、「3%～4%未満」、「1%～2%未満」が続いた。



※端数の四捨五入により、各項目の合計が100%とならない場合がある

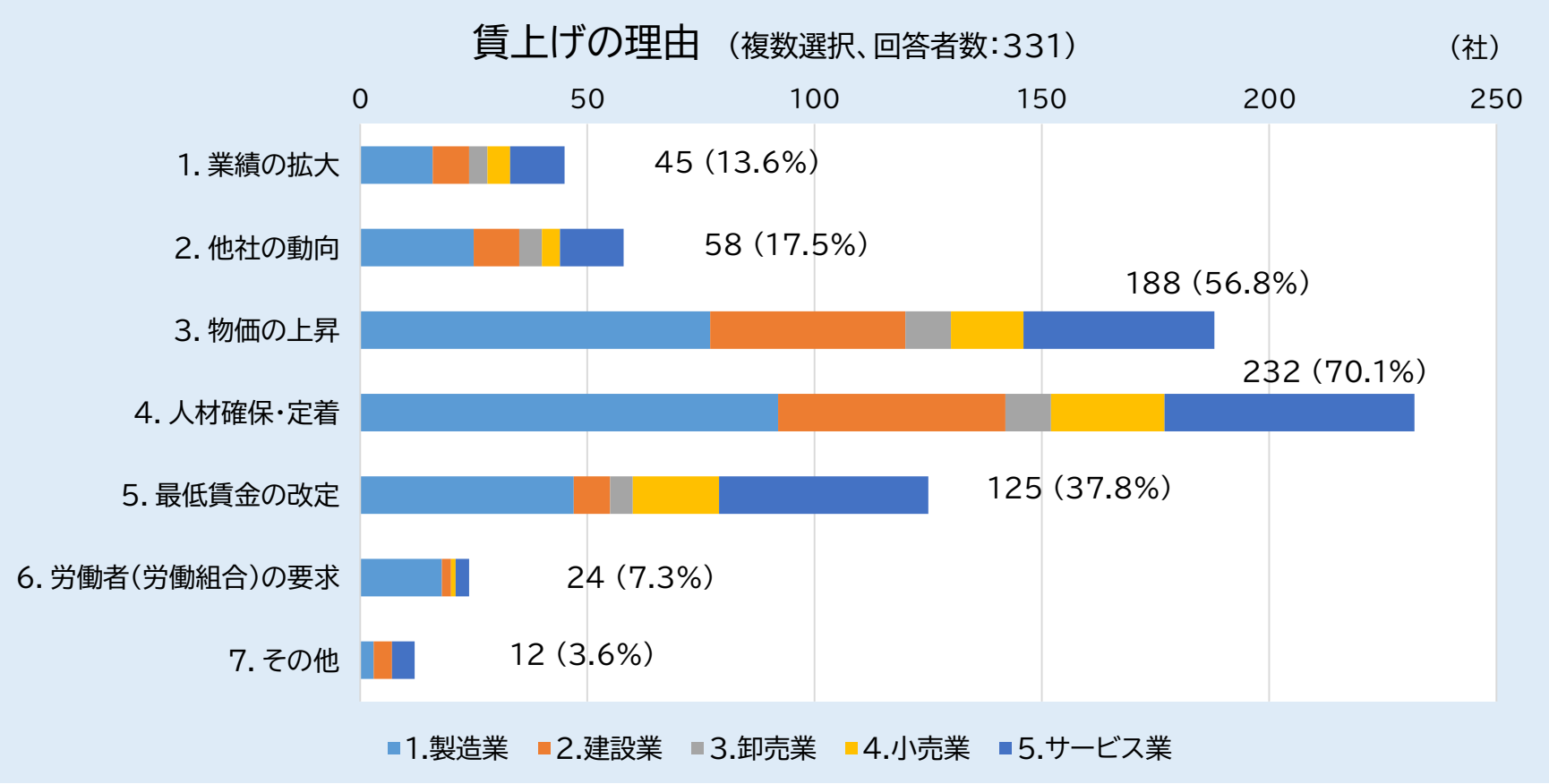
賃上げ率（令和5年度からの比較）

- 賃上げ率について、令和5年度から令和8年度までを比較したところ、「賃上げ率3%以上」の割合の合計が増加傾向となった。



賃金引き上げの理由

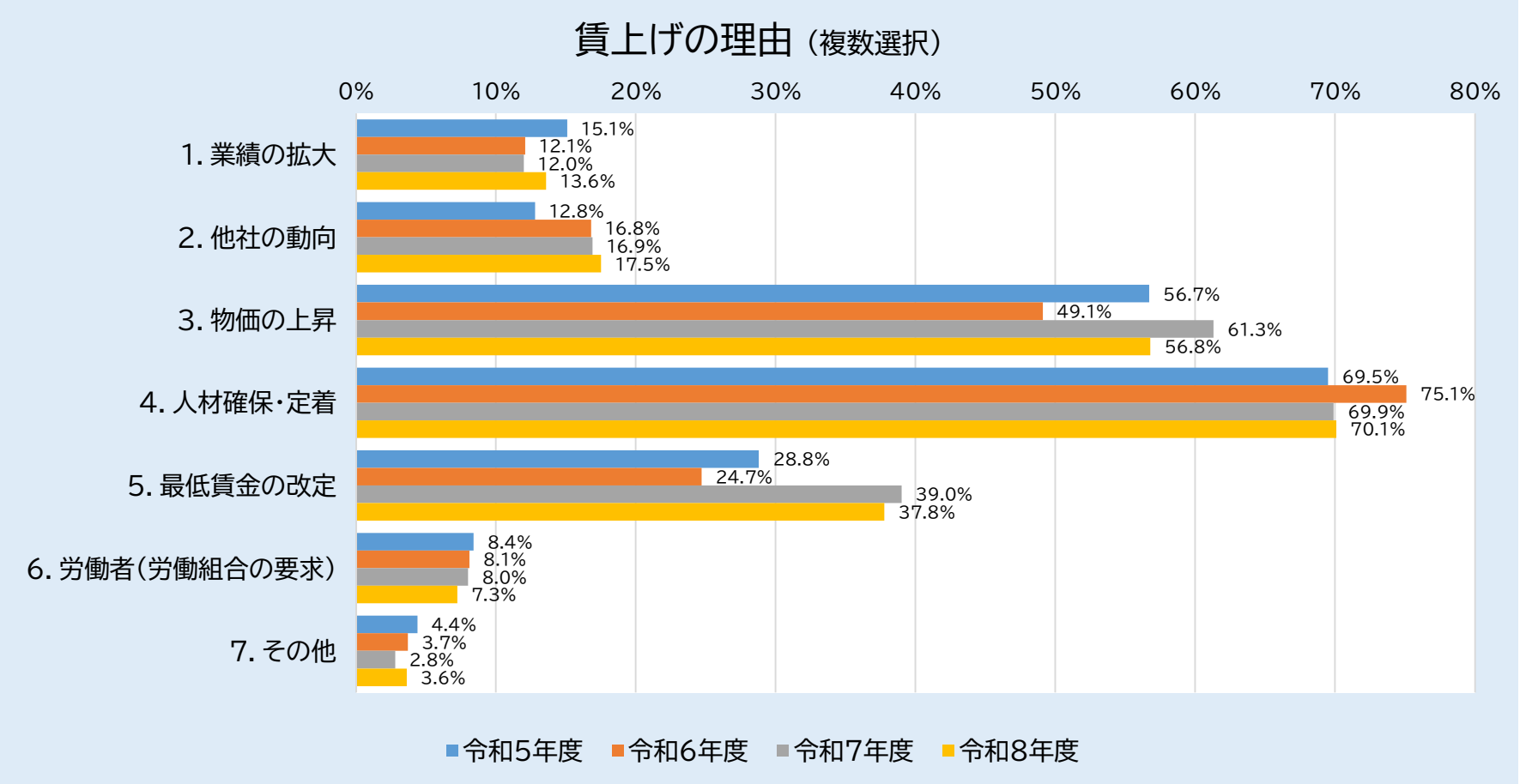
- 賃金引き上げの理由を複数回答で尋ねたところ、「人材確保・定着」が最も多く、「物価の上昇」、「最低賃金の改定」が続いた。
- 「その他」の内容：定期昇給、補助金の条件 等



※各項目の割合は、回答者数に占める割合（複数回答のため合計は100%にならない）

賃金引き上げの理由（令和5年度からの比較）

- 賃金引き上げの理由について、令和5年度から令和8年度までを比較したところ、「他社の動向」、「最低賃金の改定」の割合が増加傾向となった。



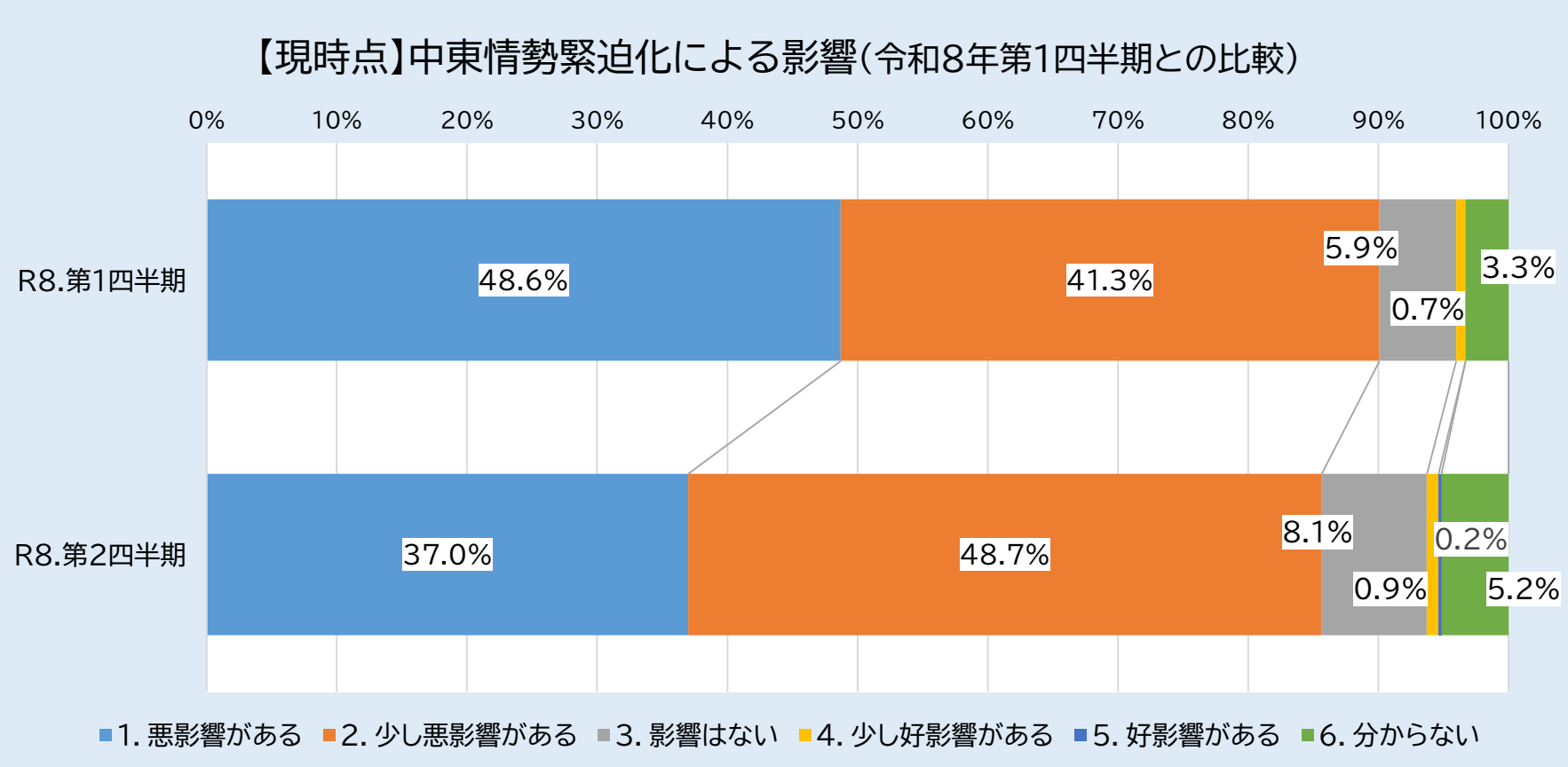
※各項目の割合は、回答者数に占める割合（複数回答のため合計は100%にならない）

【追加設問２】

中東情勢緊迫化による影響について

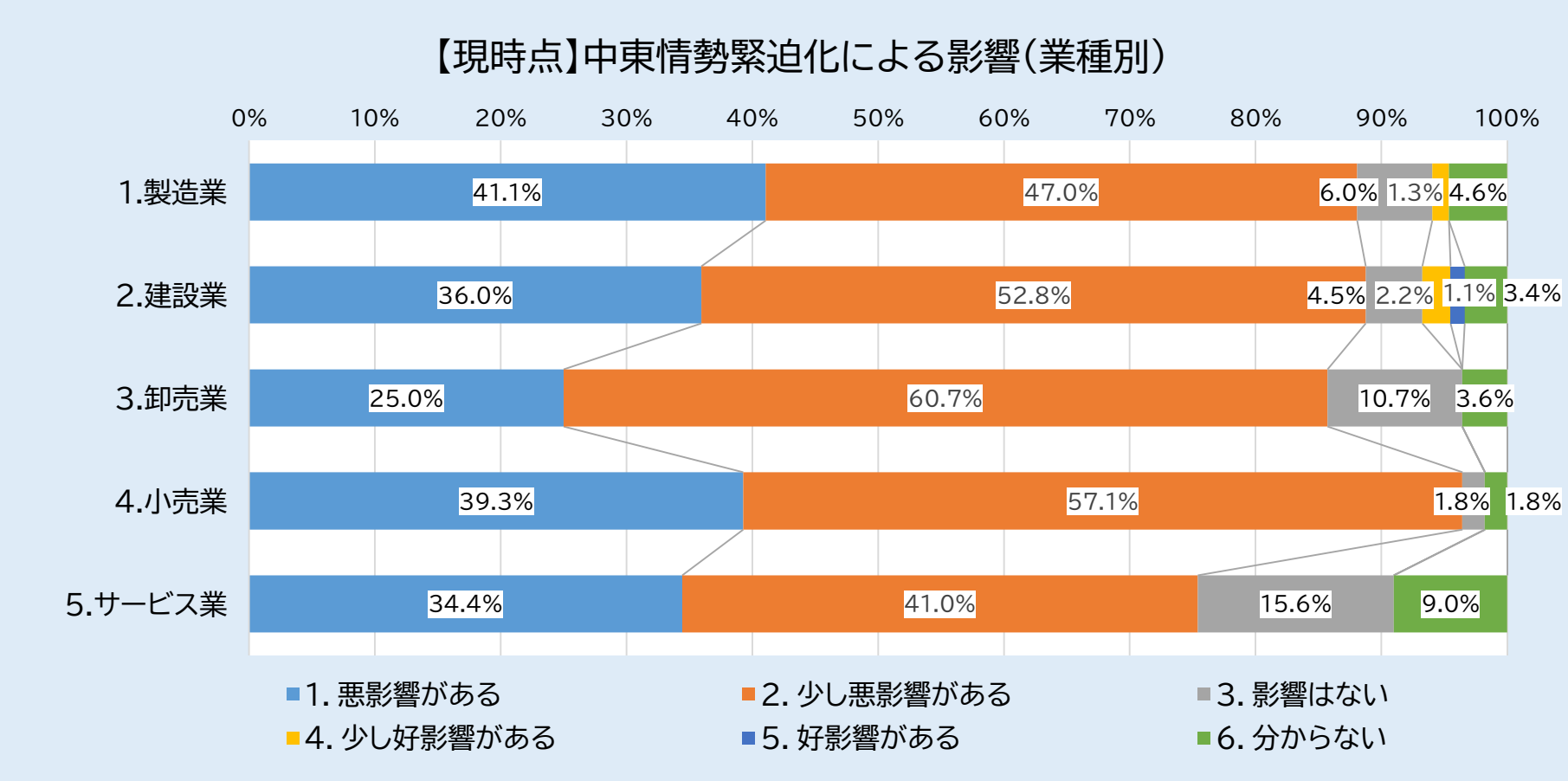
【現時点】中東情勢緊迫化が及ぼしている影響（令和8年度第1四半期との比較）

- 現時点で中東情勢緊迫化が及ぼしている影響について尋ねたところ、「悪影響がある」が37.0%、「少し悪影響がある」が48.7% で、全体の85.7%（前期比マイナス4.2ポイント）が悪影響を受けると回答した。



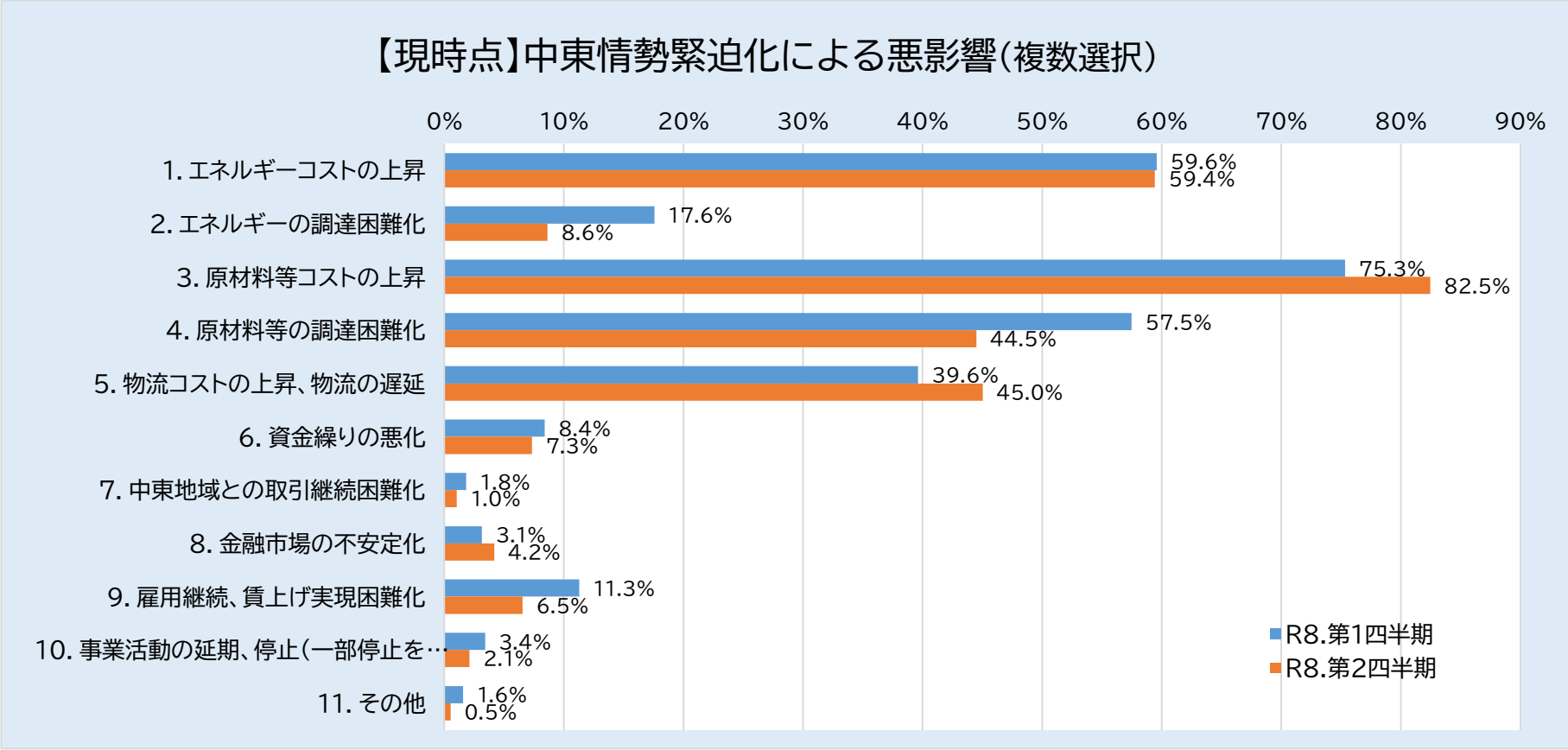
【現時点】中東情勢緊迫化が及ぼしている影響（業種別）

- 現時点で中東情勢緊迫化が及ぼしている影響について、「悪影響がある」と「少し悪影響がある」の合計は、小売業のみ90%を超えた。最も割合の低いサービス業は75.4%だった。



【現時点】中東情勢緊迫化が及ぼしている影響（令和8年度第1四半期との比較）

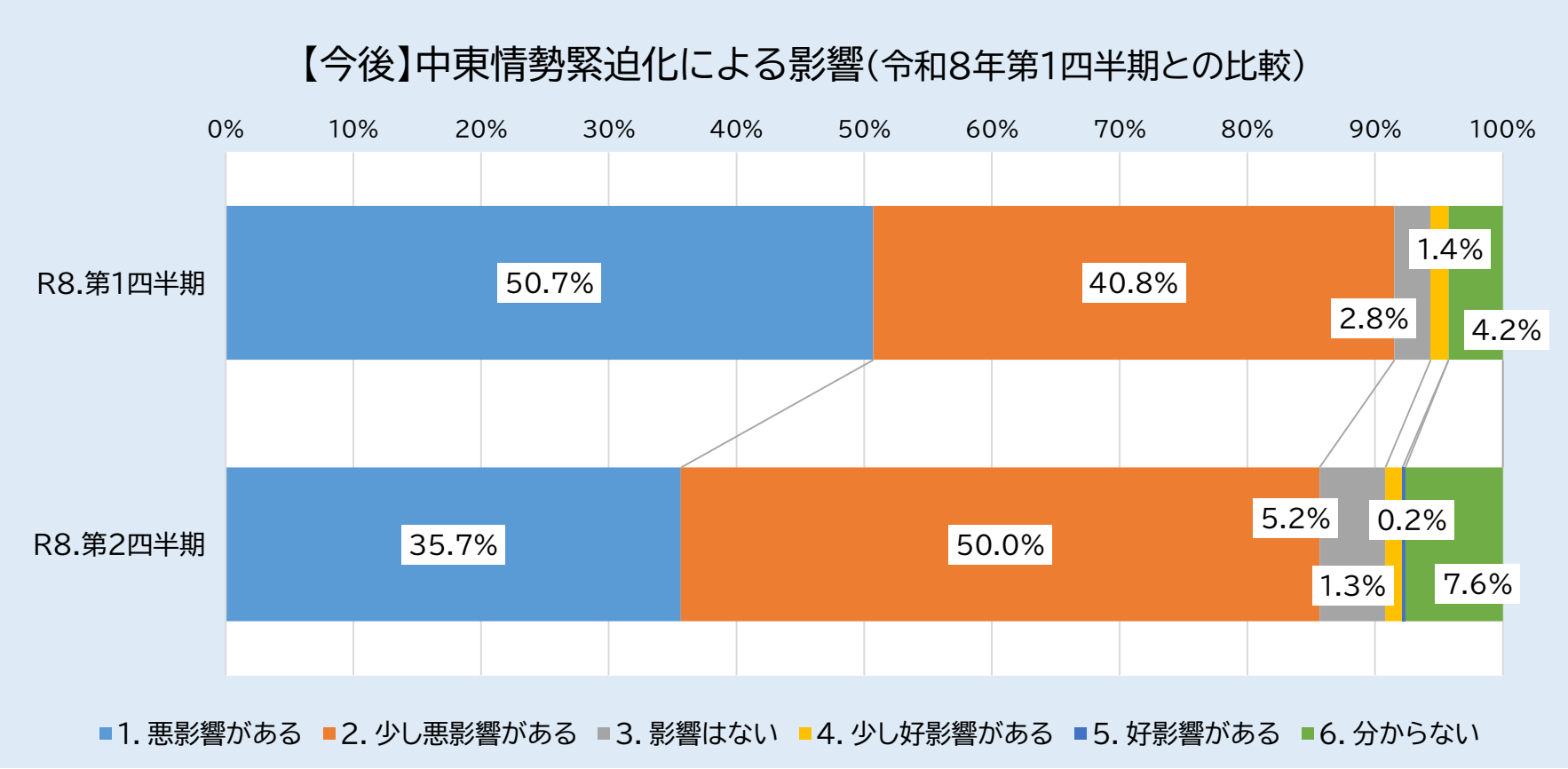
- 今後中東情勢緊迫化が及ぼす懸念のある影響の内容について、「エネルギーの調達困難化」、「原材料等の調達困難化」が減少した。
- 「雇用継続、賃上げ実現困難化」は減少し、「原材料コストの上昇」、「物流コストの上昇、物流の遅延」は増加した。



※各項目の割合は、回答者数に占める割合（複数回答のため合計は100%にならない）

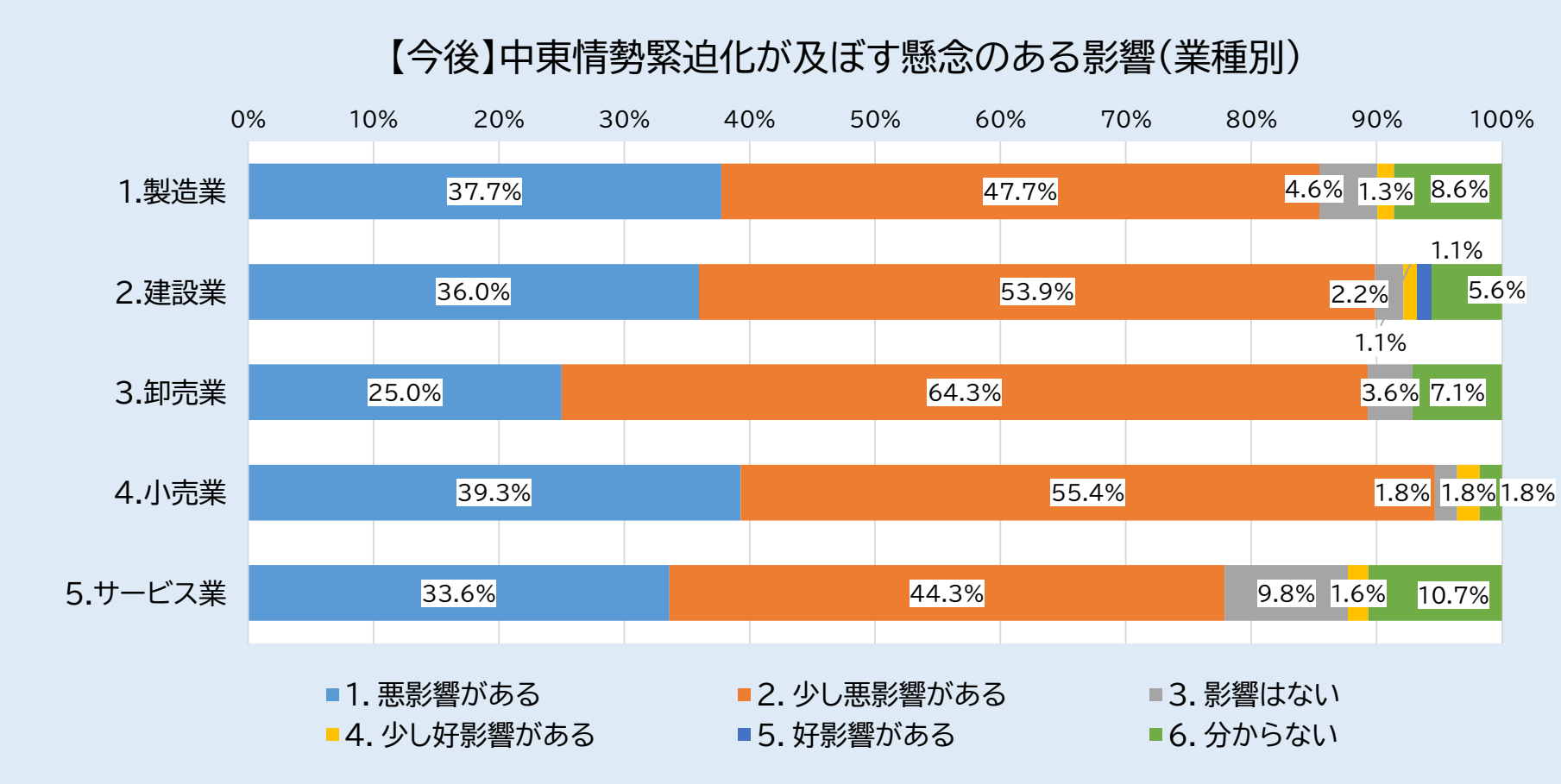
【今後】中東情勢緊迫化が及ぼす懸念のある影響（令和8年度第1四半期との比較）

- 今後、中東情勢緊迫化が及ぼす懸念のある影響について尋ねたところ、「悪影響がある」が35.7%、「少し悪影響がある」が50.0% で、全体の85.7%（前期比マイナス5.8ポイント）が悪影響を受けると回答した。



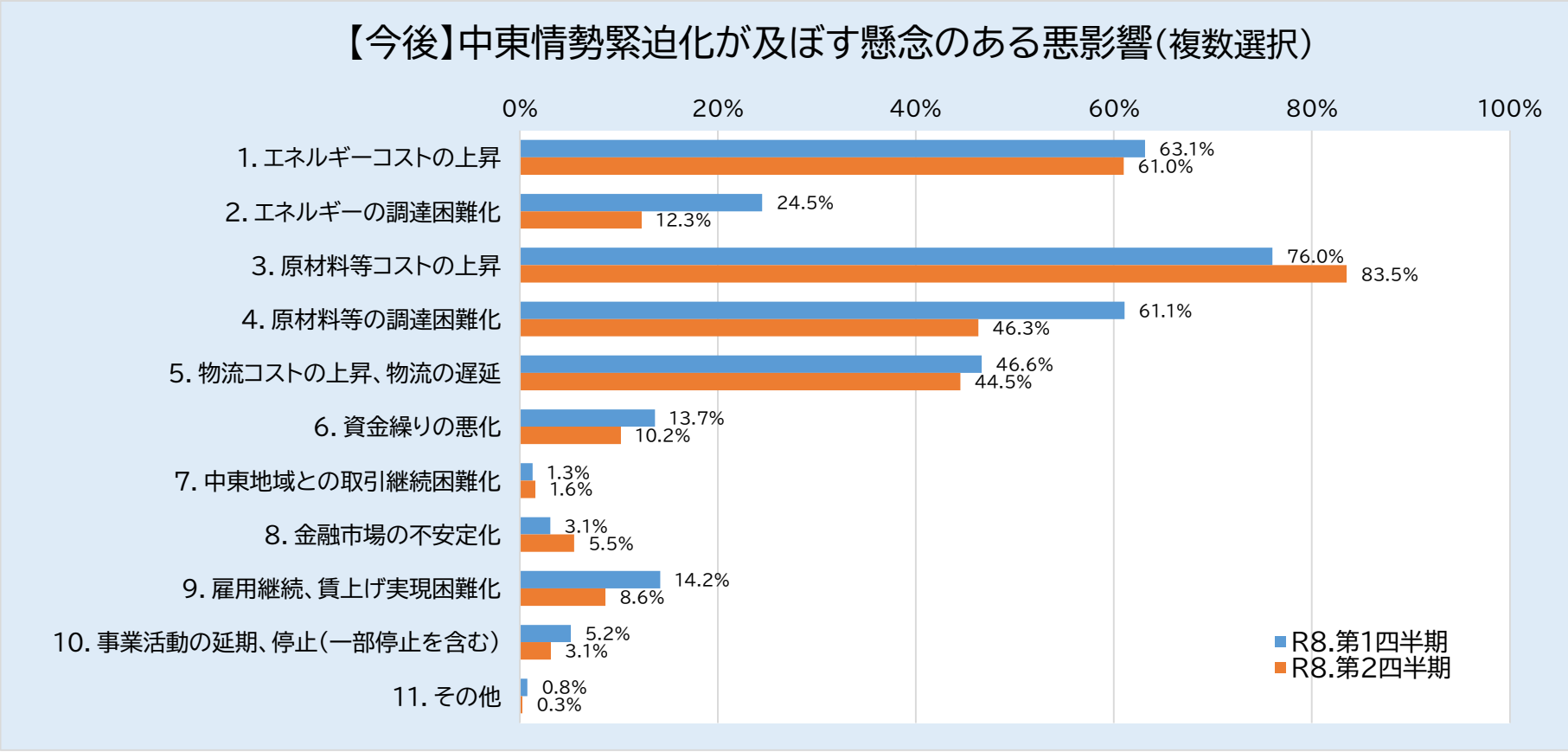
【今後】中東情勢緊迫化が及ぼす懸念のある影響（業種別）

- 今後、中東情勢緊迫化が及ぼす懸念のある影響について、「悪影響がある」と「少し悪影響がある」の合計は、小売業のみ90%を超えた。最も割合の低いサービス業は77.9%だった。



【今後】中東情勢緊迫化が及ぼす懸念のある悪影響（令和8年度第1四半期との比較）

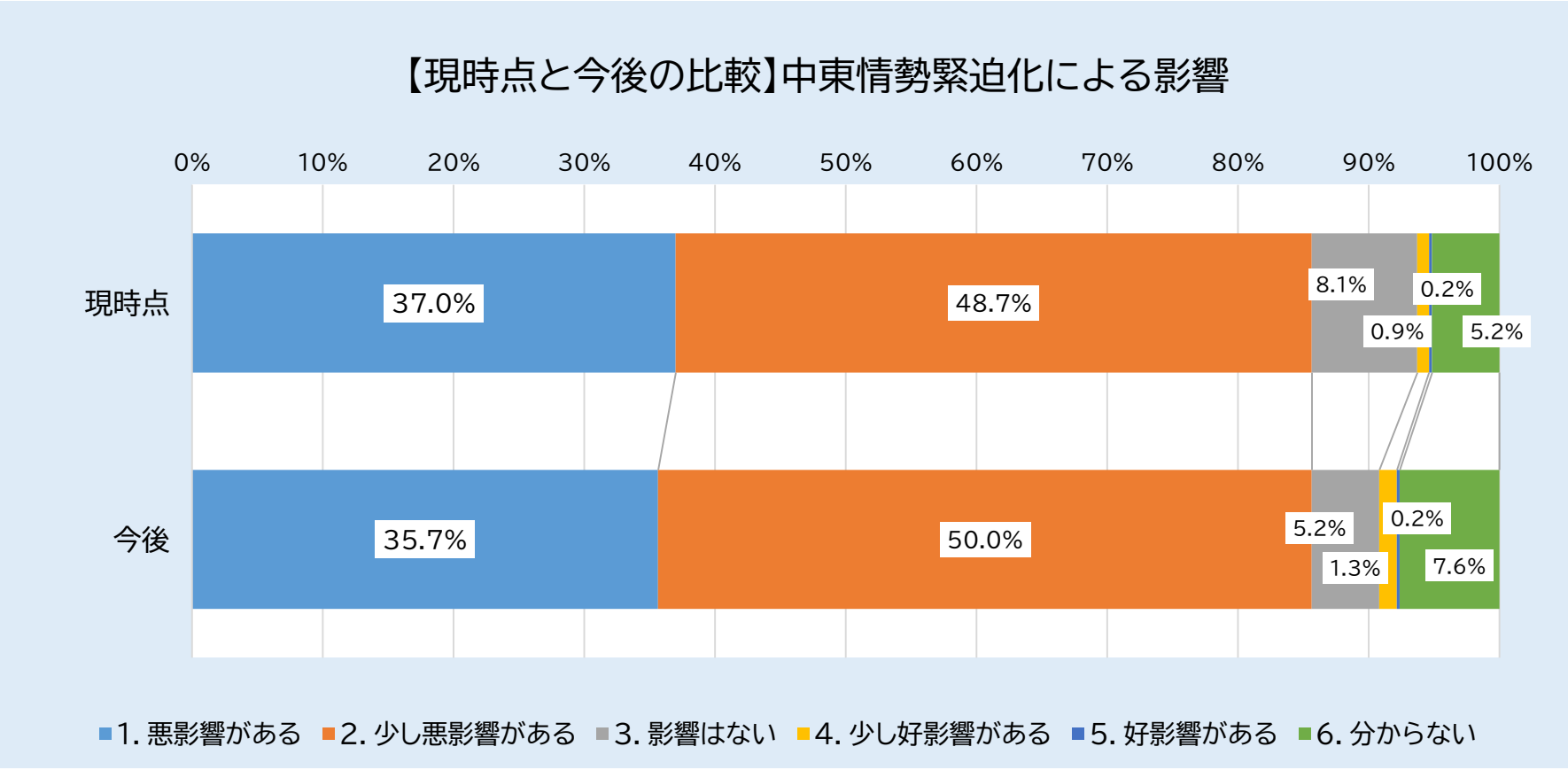
- 今後中東情勢緊迫化が及ぼす懸念のある悪影響の内容について、「エネルギーの調達困難化」、「原材料等の調達困難化」が減少した。
- 「エネルギーコストの上昇」は減少し、「原材料コストの上昇」は増加した。



※各項目の割合は、回答者数に占める割合（複数回答のため合計は100%にならない）

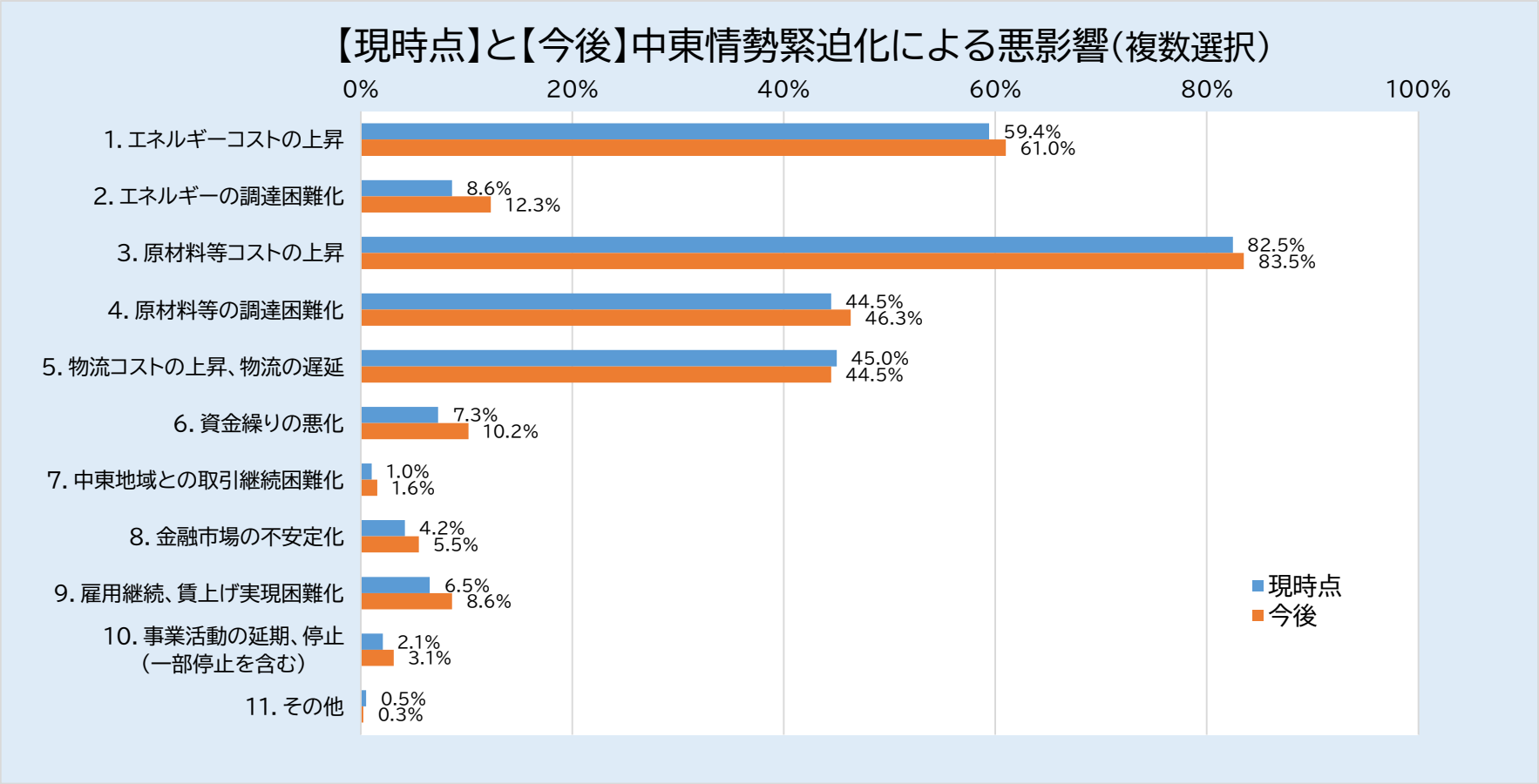
【現時点と今後の比較】中東情勢緊迫化が及ぼしている影響

- 中東情勢緊迫化が及ぼしている影響について、【現時点】と【今後】を比較したところ、「悪影響がある」の割合は、【現時点】から【今後】にかけて増加した。
- 「影響はない」の割合は、【現時点】から【今後】にかけて減少した。



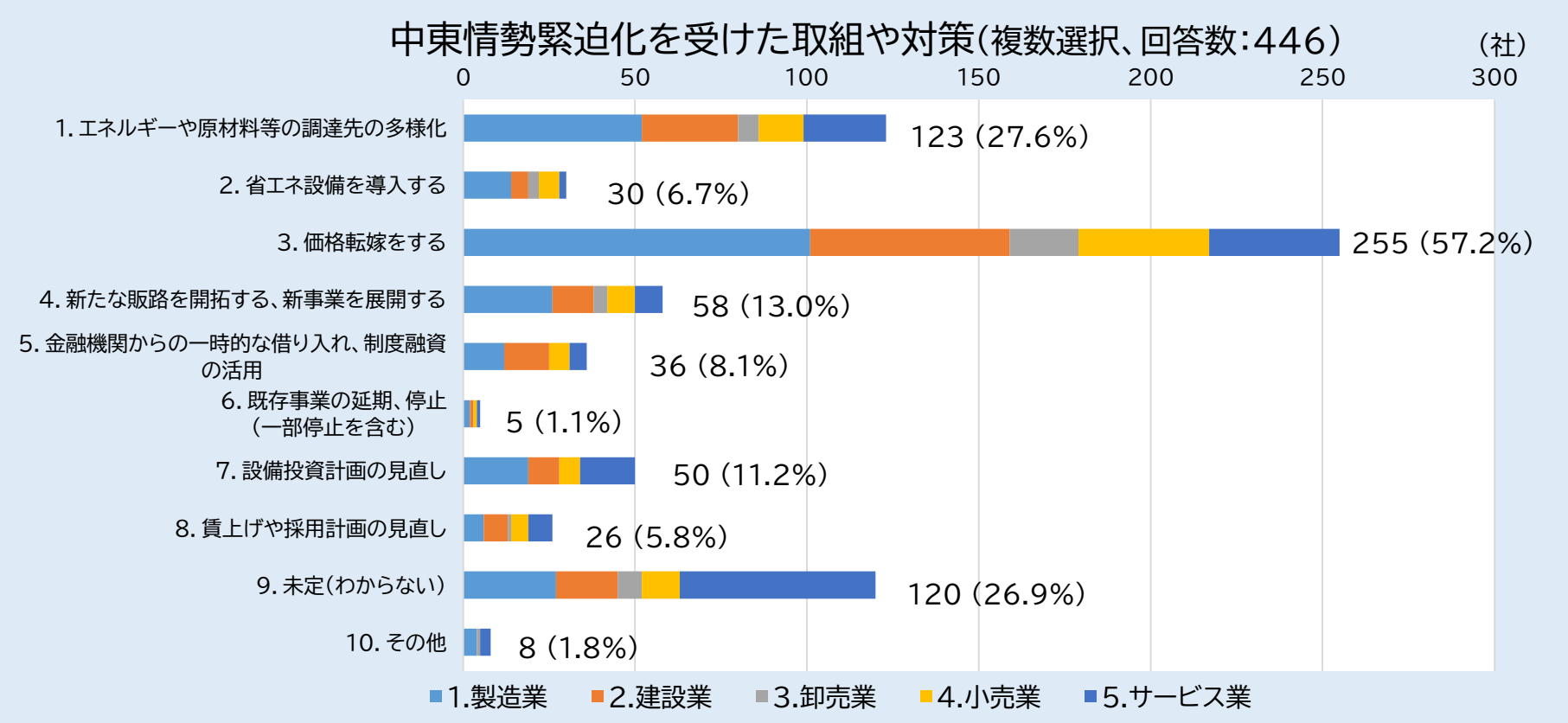
【現時点と今後の比較】中東情勢緊迫化が及ぼしている悪影響の内容

- 中東情勢緊迫化が及ぼしている悪影響の内容について、【現時点】と【今後】を比較したところ、ほとんどの項目で【現時点】よりも【今後】の方が回答割合が多かった。
- 【現時点】から【今後】の増加割合は、「エネルギーの調達困難化」において最も多かった。
- 次いで「資金繰りの悪化」、「雇用継続、賃上げ実現困難化」の順に多かった。



中東情勢緊迫化を受けた取組や対策

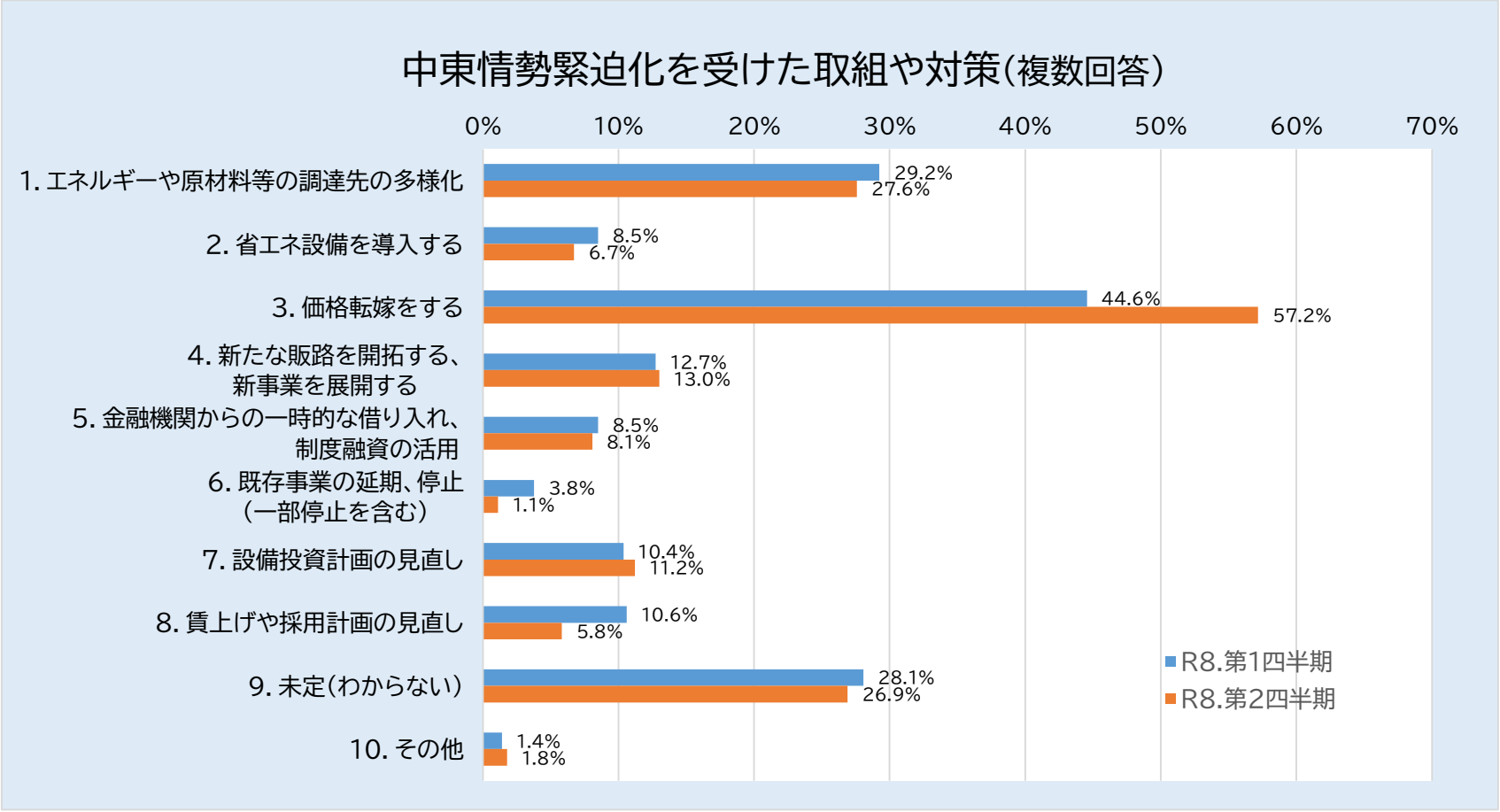
- 中東情勢緊迫化を受けて実施する取組や対策について尋ねたところ、「価格転嫁をする」が全体の57.2%で最も多かった。
- 次いで「エネルギーや原材料等の調達先の多様化」、「未定（わからない）」が順に多かった。



※各項目の割合は、回答者数に占める割合（複数回答のため合計は100%にならない）

中東情勢緊迫化を受けた取組や対策（令和8年度第1四半期との比較）

- 中東情勢緊迫化を受けて実施する取組や対策について、第1四半期と第2四半期を比較したところ、「価格転嫁をする」の回答割合が大きく増加した。



※各項目の割合は、回答者数に占める割合（複数回答のため合計は100%にならない）

中東情勢緊迫化を受けて滋賀県に求める支援

- 中東情勢緊迫化を受けて滋賀県に求める支援について尋ねたところ、主な回答は下記のとおりであった（自由記述）。 ※ 回答数：366件

区分	滋賀県に求める支援	業種
設備投資	省エネ設備導入支援 ／ 生産性向上のための設備支援 ／ 設備改修のための支援	製造業、建設業、サービス業
資金繰り	融資や貸付金、利子補給制度の創設 ／ 低金利・長期の融資制度の創設／コロナ時のような無利子の融資制度 ／ 金融機関からの借入時の補助	製造業、建設業、小売業、サービス業
公共工事関係	公共工事における速やかなインフレスライド価格の適用 ／ 適正価格による積算 ／ 県北部への公共投資 ／ ゆとりある工期、労務費の増額	建設業
エネルギー、資材	物流・運輸コスト上昇への支援 ／ 燃料費（ガソリン・軽油・LPガス等）・光熱費補助 ／ 石油やナフサ、資材、原材料の供給・価格の安定化 ／ 医療関係の物資の充実	製造業、建設業、卸売業、小売業、サービス業
賃上げ、人材確保	賃上げ原資の補助 ／ 新卒等人材確保・育成支援	製造業、サービス業
その他	地域での消費促進対策／ 減税（法人税、燃料にかかる税等）・税制優遇 ／ 国への働きかけ ／ 価格交渉支援／ 不当な値上げの監視 ／ 原材料高騰にかかる価格転嫁支援 ／ きめ細かな情報提供 ／ 企業成長による収益強化、労働分配の増加につながる施策 ／ 県内業者への優先発注	製造業、建設業 小売業、サービス業